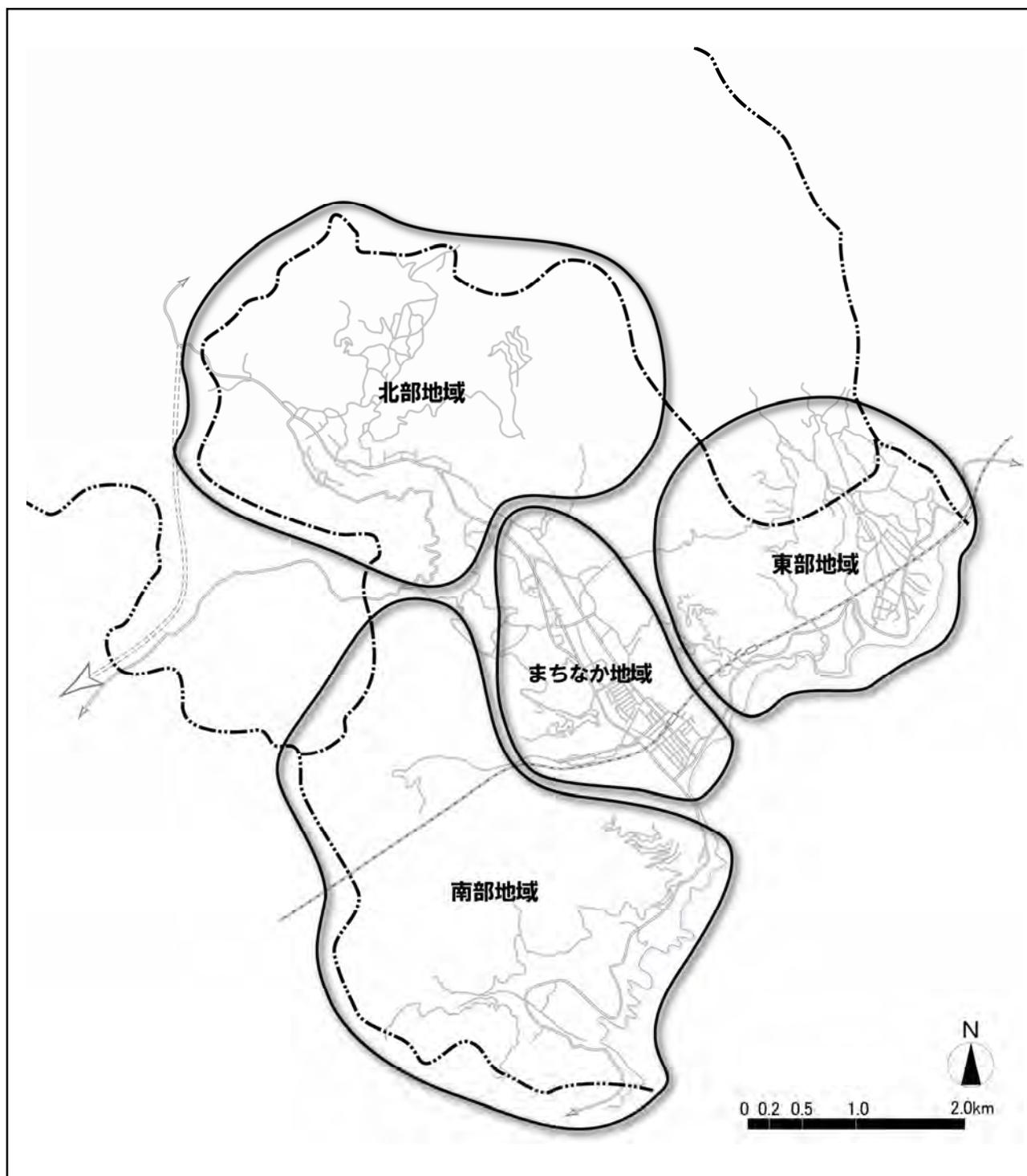


3章 地域別構想

1 地域区分

地理的条件や土地利用現況等の地域特性及び地域としてのまとまり等を考慮し、地域別構想の地域区分を「まちなか地域」、「北部地域」、「東部地域」、「南部地域」の4地域とします。

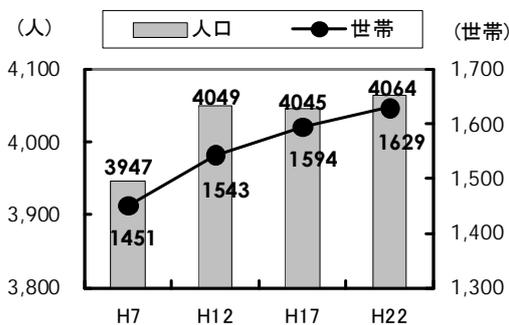


2 まちなか地域

(1) 地域を取り巻く環境

位置等

- 本地域は河津川下流域に位置し、浜地区、笹原地区、田中地区、沢田地区、峰地区、谷津地区から構成されます。
- 平成22年の人口・世帯数は、4,064人、1,629世帯となっています。世帯数は増加傾向にありますが、人口は近年ほぼ横ばいの状況となっています。



資料：国勢調査(浜、笹原、田中、沢田、上峰、下峰、谷津の合計)



土地利用

- 河津川下流域の平坦地には、まちの中心となるまちなかが形成され、用途地域が指定されています。河津駅周辺には、商業・サービス施設の多少の集積がみられます。
- 用途地域内では、浜地区、笹原地区において土地区画整理事業が完了しているものの、宅地への利用転換は遅れており、低・未利用地が多く残されています。
- 土地区画整理事業が完了した区域以外の地域では、まちなかとしての都市基盤の整備が進んでいないことなどから、土地利用の状況は用途地域指定時とほとんど変化がみられません。特に田中地区では農地が多く残されています。
- 用途地域以外の地域では、谷津川沿いの山あいの平坦地などに、古くからの農山村集落が形成されています。また、一部の山間地は別荘地として利用されています。
- 河津浜海岸は、今井浜海岸と同様に、良好な海水浴場として夏のシーズンには多くの海水浴客でにぎわいます。

土地利用に関わる主な法適用状況

- 用途地域(105ha)
- 地区計画(1箇所:11.2ha)
- 農業振興地域(用途地域以外の区域)
- 富士箱根伊豆国立公園
- 海岸保全区域

市街地開発事業等

- 浜地区土地区画整理事業(21.3ha)
- 笹原地区土地区画整理事業(11.2ha)



▲浜地区(河津城跡公園より)

都市施設

- 主要幹線道路の国道 135 号、幹線道路の主要地方道下佐ヶ野谷津線が通過しています。
- 用途地域内を中心に、幹線道路、補助幹線道路となる都市計画道路（5路線）が都市計画決定され、土地区画整理事業区域においては整備が完了し、現在は（都）浜峰線の整備が進められています。しかし、浜峰線を除き、土地区画整理事業区域以外の路線、区間については、ほとんど整備が進んでいません。
- 公共交通は、町の玄関口となっている伊豆急行線河津駅が設置されています。また、主要地方道下佐ヶ野谷津線、町道大堰笹原線などが自主運行バスのルートになっているものの、運行本数は限られています。
- 地域内の主要な公園として、町の特徴を生かした河津バガテル公園や峰温泉大噴湯公園、河津城跡公園、身近な憩いの場、遊び場となっている笹原公園、河津浜児童公園が整備されています。また、身近な緑地として風土の森、浜緑地帯が整備されています。
- 地域内の主な公共公益施設として町役場、文化の家（図書館）、河津中学校、南小学校、主な観光施設として河津バガテル公園、踊り子温泉会館、河津桜観光交流館などがあります。

主な都市施設		
道路・交通施設	鉄道	▶ 伊豆急行線(河津駅)
	国・県道 (2路線)	▶ 国道 135 号、主要地方道下佐ヶ野谷津線
	都市計画道路 (5路線)	▶ 浜峰線、浜谷津線、谷津峰線、峰田中線、来の宮線
公園・緑地	都市公園	▶ 笹原公園
	その他の主な公園	▶ 河津バガテル公園、峰温泉大噴湯公園、河津城跡公園、端戸山公園、河津浜児童公園
	主な緑地	▶ 風土の森、浜緑地帯
その他の公共公益施設等	官公庁施設	▶ 町役場、文化の家(図書館)、コミュニティセンター、下田地区消防組合河津分署、笹原コミュニティ防災センター、谷津コミュニティ防災センター
	教育施設	▶ 河津中学校、南小学校、さくら幼稚園、わかば保育園
	その他	▶ 河津桜観光交流館、踊り子温泉会館、河津平安の仏像展示館



▲国道 135 号



▲笹原公園



▲町役場



▲(都)浜峰線



▲峰温泉大噴湯公園



▲河津桜観光交流館

都市環境

○まちなかに近接する斜面地に急傾斜地崩壊危険区域（8箇所）、田中洞川、鍛冶屋沢川の流域に砂防指定地（2箇所）が指定されているほか、まちなかの背後にある山間地の沢や川が土石流危険渓流となっており、台風や集中豪雨時における土砂災害が懸念されます。また、海岸に近く、低地部であることから震災時の津波被害についても懸念されます。

○河津川沿いの桜並木の美しい景観は、まちのシンボルとなっています。

○河津浜海岸は美しい砂浜からなる良好な海辺の景観が形成されています。また、広大な相模灘の眺望を楽しむことができます。

○都市基盤が整備されたまちなか、昔ながらの農山村集落地、別荘地など、様々な暮らしの景観が形成されています。

○まちなかでは宅地化が遅れており、低・未利用地が多く残っていることから、まちなかとしての連続性やまとまりが欠けた景観となっています。

○豊かな自然環境とのふれあいや美しい自然景観を楽しむことができる、河津城山ハイキングコースが整備されています。

災害防止に関わる主な法適用状況

- 急傾斜地崩壊危険区域(8箇所)
- 砂防指定地(2箇所)
- 災害危険区域(急傾斜地崩壊危険区域以外)(2箇所)

主な景観要素

自然の景観 (みどりと水の景観)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ まちなかを取り囲む緑豊かな山々。風土の森。浜緑地帯。 ➢ 河津浜海岸。河津浜から望む相模灘。 ➢ 河津川の清流と一体となった河津桜の並木。
歴史・文化の景観	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 来の宮神社、河津八幡神社などの社寺。 ➢ 河津桜の原木、来の宮神社の大クス、新町の大ソテツなどの古木、大木。
暮らしの景観	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 河津駅周辺のまちなかの景観 ➢ 山々、農地に囲まれた農山村集落地の景観(谷津地区など) ➢ 温泉地の景観(峰地区、谷津地区) ➢ 別荘地の景観
その他 (花や温泉など)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 河津バガテル公園。かわづ花菖蒲園。かわづカーネーション見本園。 ➢ 踊り子温泉会館。峰温泉大噴湯。豊泉の足湯処。さくらの足湯処。河津三郎の足湯処。 ➢ 河津城山ハイキングコース



▲河津川と河津桜



▲河津浜海岸



▲河津八幡神社

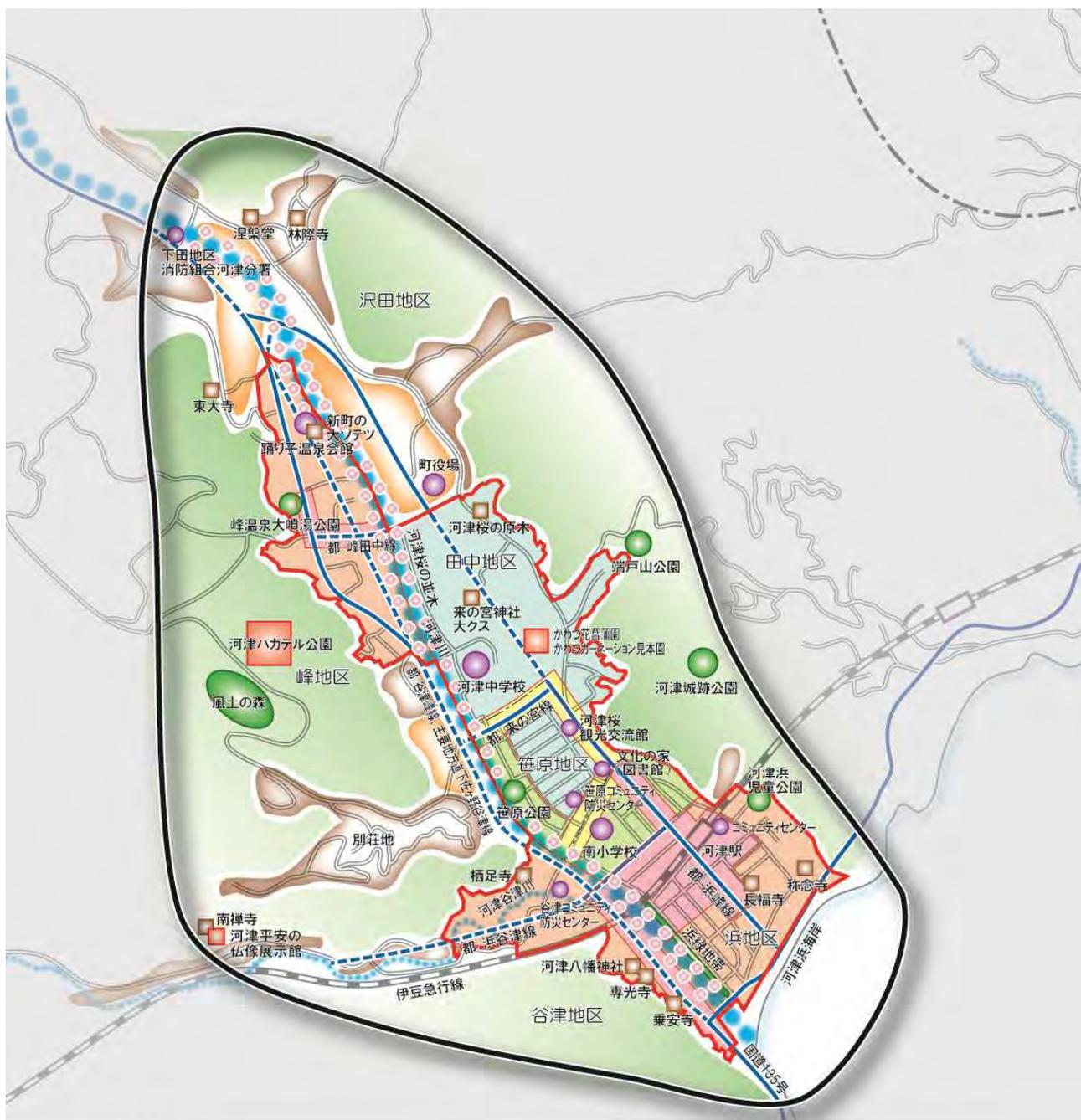


▲河津バガテル公園



▲来の宮神社の大クス

◆ まちなか地域 特性図 ◆



凡例

【主な土地利用】

《用途地域》

- 第一種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 近隣商業地域
- 地区計画

《その他》

- 山林
- まとまりのある農地
- 集落地、別荘地
- 河川

【主な施設等】

- 国道、県道、都市計画道路(整備済)
- 都市計画道路(未整備)
- 鉄道
- 主な公園・緑地
- 主な公共公益施設等
- 主な観光レクリエーション施設等
- 主な歴史・文化資源

(2) 地域づくりの目標

全体構想及び地域を取り巻く環境等を踏まえ、地域づくりの目標を次のように設定します。

魅力ある地域資源を生かしながら、 まちの中心としてのにぎわい・交流を育む地域

河津川沿いの河津桜の並木、美しい河津浜海岸、来の宮神社などの歴史・文化資源、温泉、花といった多彩な地域資源に恵まれている地域です。こうした資源は重要な観光資源としても活用されてきました。今後もこうした地域資源を大切に守り、生かしながら、地域の魅力づくりを進めます。

河津駅や役場などの公共公益施設、観光交流施設、商業施設等が立地するまちの中心となる地域です。適正な土地利用の誘導、計画的な都市基盤の整備・充実、各施設のネットワーク化などにより、多くの人々が暮らし訪れる交流とにぎわいのある地域づくりを進めます。

(3)地域づくりの方針

土地利用に関する主な方針

河津駅周辺におけるにぎわいや魅力の回復

にぎわいや魅力が失われつつある河津駅周辺の商業地において、まちの中心的な商業地及び交流の拠点として機能の充実、活力の向上を図ります。

◆取り組み◆

- ▶ 新たな商業サービス施設、観光交流施設等の立地、集積の促進
- ▶ 既存の商業地における空き店舗対策
- ▶ 街灯、ポケットパーク、ベンチなどの共同施設の設置等による快適な商業地空間づくり

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 駅周辺はにぎわいが不足している。駅周辺の開発を。
- いろいろなお店が集積するような施設の立地が今の流れ。商業施設、飲食店等を集積させる施設をつくる。
- 車で買物ができる施設を。
- 飲食店街、飲み屋街がほしい。商店の集合施設を。
- 買物する場所がない。いつも伊東や沼津に出かける。
- 河津駅前プラザの賃貸料の一部を町が負担し、使用者を増やす。(空き店舗を減らす)
- ポケットパークを整備しても管理が大変。各店舗の前にベンチを置く程度でよいのでは。

土地区画整理事業施行区域内における適正な土地利用の形成

土地区画整理事業により都市基盤の整った笹原地区、浜地区において、指定されている用途地域や地区計画に基づいて、土地の適正な利用、有効活用を促進します。

◆取り組み◆

- ▶ 南中学校跡地の活用
- ▶ 駐車場、農地などの低・未利用地への住宅地の利用の促進
- ▶ 河津桜まつりの駐車場の田中地区などへの分散の検討
- ▶ 笹原地区計画に基づく、緑豊かなゆとりある居住環境の形成
- ▶ 笹原地区の主要道路((都)浜峰線、(都)来の宮線、町道笹原谷津線)沿道における、低・未利用地への住宅及び商業サービス施設の立地の促進(沿道の利便性を生かした土地の有効活用)

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 笹原地区は土地の価格が高すぎて土地利用(宅地化)が進まない。土地区画整理地内に農地が残っていてよいのか。
- 笹原地区土地区画整理事業施行区域内の土地の売買を盛んにする。町が土地を紹介するなど、町が主体となって土地利用の促進策(住宅供給)を進める。
- 土地の売買が進むように看板などを立ててほしい。人が増えるのではないか。
- 旧南中学校跡地の活用を。旧南中学校跡地をモデル地区として活用してみたらどうか。
- 河津桜観光交流館の駐車場の多目的利用を。

都市基盤の整備が遅れている田中地区の計画的な土地利用の誘導

用途地域に指定されているものの、都市基盤の整備が進まず、農地が多く残されている田中地区において、用途地域の見直しを含め、計画的な土地利用の誘導を図ります。

◆取り組み◆

- (都)浜峰線沿道における、土地の有効活用を促進するための用途地域の見直しの検討。用途地域の見直しに合わせた、沿道の利便性を生かした土地の有効活用の促進(沿道への住宅及び商業サービス施設の立地の促進)
- 沿道以外の区域における、無秩序な開発や土地利用転換による環境の悪化の抑制。地区計画制度の活用や民間活力の導入等による都市基盤の整備とあわせた計画的な土地利用の誘導

浜、谷津、峰地区に形成されている温泉地や住宅地における快適な環境づくり

古くから形成されている温泉地や住宅地において、各温泉地、住宅地が抱える課題に応じた生活基盤の整備・改善などを進め、居住環境の充実を図ります。

◆取り組み◆

- 幅員の狭い生活道路の改善、身近な公園の整備など、生活基盤の整備・改善
- 都市計画道路(浜峰線、峰田中線)沿道及び主要地方道下佐ヶ野谷津線沿道の商業地における、商業サービス施設の立地の促進、商業地としてのまとまりや魅力の維持・充実

まちの骨格となる主要な道路の計画的な整備・改善

まちの骨格となり、日常の町民生活や活動、観光交流等を支える国・県道や都市計画道路において、未整備区間や改善が必要な区間等の計画的かつ効率的な整備を進めます。

◆取り組み◆

- ▶ 主要地方道下佐ヶ野谷津線における、狭あい区間の拡幅や交通危険箇所の改善などの改良整備の促進(安全性・走行性の向上)
- ▶ 町道大堰笹原線における、狭あい区間の拡幅や交通危険箇所の改善などの改良整備の推進
- ▶ (都)浜峰線の整備の推進
- ▶ その他の都市計画道路の未整備路線・区間における、計画の見直しの検討(地域活性化、観光交流の促進、利便性の向上、防災・減災などの視点に基づく整備の必要性や実現性などの再検証)。その結果、整備が必要な路線・区間における、重要度・優先度に応じた計画的な整備の推進。

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 県道、その他道路が狭い。(大型車両のすれ違い)
- 信号機が少ない。(合流地点など)
- 人優先が必要。歩車分離の道路の整備を。
- 河津は観光が柱であるため、観光を磨くことを視点に道路整備等を考える必要がある。
- 無駄な道路はつぐらない。
- 50年前に決定した都市計画道路を前提とするのはおかしい。
- (都)浜峰線の未整備区間の整備は必要ない。浜峰線が近くを通過する計画の来の宮神社周辺にはホテルが生息している。便利になることだけがよいことではない。
- (都)谷津峰線は現状(主要地方道下佐ヶ野谷津線)のままでもよい。都市計画道路としての整備の必要はない。
- (都)来の宮線の河津川に架ける橋を観光スポットとなるように。(憩いの場としての利用や写真撮影ポイントなど)

生活道路における安全な歩行・走行の確保、緊急時への対応

歩行上、走行上危険性の高い道路や緊急車両の通行に支障のある道路など、生活道路や通学路の整備・改善を進め、安全性・利便性の向上を図ります。

◆取り組み◆

- ▶ 各地域(集落)とまちの主要道路を連絡する町道や緊急車両の通行に支障のある町道、通学路となっている町道における、狭あい区間の拡幅や見通しの悪い交差点などの交通危険箇所の改善

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 田中地区の道路が狭い。

公共公益施設や観光施設等を結ぶ歩行者ネットワークの形成

多くの人が利用する公共公益施設や観光施設等へのアクセスや各施設間のネットワーク等を考慮しながら、これら施設を安全に楽しく訪れることができる歩行者ネットワークの形成を図ります。

◆取り組み◆

- 河津川の遊歩道の適正な維持・管理、都市計画道路の歩行者空間の整備等による、公共公益施設や観光施設、歴史・文化資源等を結ぶ歩行者ネットワークの形成
- 河津城山ハイキングコースの適正な維持・管理

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 観光スポット周辺の道路整備を。
- サイクリングや散歩で巡ることができるような魅力ある道づくり、雰囲気づくりが必要。
- 町内の各施設までのアクセスが不便。
- 浜から大堰までの平坦地を生かして、健康づくりができるような環境を。(サイクリングやウォーキング、ランニング)
- 魅力的な様々な資源(歴史等)があるため、その掘り起こし、ネットワーク化を図る。

交通結節点となる河津駅の利便性の向上

観光客を含め多くの人利用する河津駅において、鉄道を利用しやすい環境を整えます。

◆取り組み◆

- 駅及び駅前広場におけるユニバーサルデザイン化の促進
- 駅北口の整備
- 駅周辺への駐車場の整備

整備された公園の充実

既存の公園において、多くの人に利用され親しまれる公園をめざし、各公園の特色や機能等を生かしながら魅力の向上を図ります。

◆取り組み◆

- 河津バガテル公園における、来園者の増加に向けた新たな魅力づくり、一年を通じて楽しむことができる魅力づくり
- 河津バガテル公園と他の観光施設などとの連携の強化、情報発信の充実
- 峰温泉大噴湯公園、河津城跡公園における適正な維持・管理、観光スポットとしての魅力の向上
- 笹原公園や河津浜児童公園、端戸山公園における、地域住民等との連携・協力による適正な維持・管理。地域住民の要望等を取り入れた、より利用しやすい環境づくり

新たな公園、憩いの場の整備の検討

地域住民や観光客の交流・憩いの場や災害時の避難場所となる公園・広場など、新たな公園・憩いの場の整備を検討します。

◆取り組み◆

- 総合グラウンドの整備の検討
- 来の宮神社などの歴史的資源を生かした公園の整備の検討

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 総合運動場のようなものがあるとよい。スポーツ、運動ができる場所が学校施設しかない。
- 公園や河原でバーベキューができるようにする。管理費等は使用料でまかなう。
- 川沿いの桜が伐採されている。桜の公園などの整備を。
- 町内に人が集まる場所（公園、寺、美術館など）があったらよい。
- 高齢者の憩いの場（例えば、共同風呂前にイスがあり、そこでみんなで座りながら話しているが、そのようなイスだけでもよいので、各所に置けば引きこもりが防げる）をつくり、無人売店などで活性化を図る。
- 河津バガテル公園を陸上競技場にする。
- 新たに公園を整備するより、既存の資源を活用する。

身近な緑地、貴重な樹木の保全・活用

河津桜の並木や風土の森、来の宮神社の大クスなど、身近な緑地や貴重な樹木を保全・活用します。

◆取り組み◆

- 河津川沿いの河津桜の並木及び浜緑地帯の適切な保護・管理
- 河津川堤防に影響を与えない場所への、河津桜の計画的な植栽
- 風土の森における、自然とのふれあいの場、自然散策・四季の草花鑑賞の場としての保全・活用
- 来の宮神社の大クスを含めた周辺の緑地の保全
- 国や町の天然記念物に指定されている来の宮神社の大クス、新町の大ソテツ、河津桜の原木の適切な保護・管理。地域の憩いの場、観光交流の場としての活用

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 河津川沿いの桜並木をメインとした充実が必要。河津桜を見に訪れるリピーターもいる。その人たちが満足するような工夫を。
- 河津川沿いの桜を上から眺めることができる場所がもっとあってもよい。
- 人と緑との接点が少ないと思う。歴史的町並みには必要。

文化の家、踊り子温泉会館の機能の充実

文化の家、踊り子温泉会館の機能の充実、魅力の向上を図ります。

◆取り組み◆

- 文化の家における、町民の文化・芸術活動や生涯学習活動の拠点としての機能の充実
- 踊り子温泉会館における施設の適切な維持・管理。峰温泉大噴湯公園を含めた周辺環境の整備や魅力づくり

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 文化的ホールがあるとよい。音楽、映画、文学など。
- 日帰り入浴できる温泉宿の紹介やキャラバンのサービス券の使用を OK にする。
- 余った温泉はどのようにしているのか。余った温泉を有効活用できないか。
- 余っている温泉があれば有効活用や事業化を検討する。

地震・津波からの避難行動、避難生活への対策

沿岸部に位置することから、想定される津波規模等を踏まえ、地震・津波から地域住民や観光客の命を守るための避難行動や避難生活に備えた防災・減災のまちづくりを進めます。

◆取り組み◆

- 地域(集落)ごとに、近くの山や高台などへの一時的な避難場所の確保。その避難場所へ迅速に避難することができる避難路の確保・整備
- 幼稚園、小中学校からの園児、児童の迅速かつ安全な避難行動の確保
- 近くの山や高台への迅速な避難が困難な地域への、避難ビルの指定や避難タワー等の設置の検討
- 建築物の高さが10mに制限される第一種低層住居専用地域に指定されている田中地区における、防災・減災の視点を含めた用途地域の見直しの検討
- 防災拠点、広域避難場所となる町役場、南小学校の適切な維持・管理。中学校の耐震性の向上。防災用資機材や備蓄品などの整備・充実
- 観光施設、観光スポットからの観光客の迅速かつ安全な避難行動の確保(観光客の避難を想定した避難路や避難地の確保、観光客の視点に立った対策の検討)

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 裏山へ避難するための道をいくつも整備することが必要。
- 避難経路の看板などを細かく立てる。
- ここにいたら、どこに避難すればよいかを、海拔表示のところに示したらよい。
- 田中地区への防災拠点となるような施設の整備。小中学校を統合し、田中地区に整備する。(防災拠点としても位置づける)
- 小学校を統合し耐震補強をする。
- 幼稚園が下河津地域にあるため津波が心配。
- 津波の被害が心配なため、幼稚園・小学校を北部地域に。南小を安全な場所に移転する。

まちなかを取り囲む良好な自然景観の保全

地域を取り囲む緑豊かな山々や相模灘に面する河津浜海岸など、豊かな自然が創り出す美しい景観を保全・継承します。

◆取り組み◆

- 森林の適切な維持・管理
- まちなかから望む城山や天領山などの緑豊かな自然景観を損なう恐れのある開発等への適切な対応
- 河津浜海岸の美しい景観、広大な相模灘の眺望の保全。町民やボランティアなどとの協力による、海岸の美化活動、清掃活動の実施

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 統一感のある街並みづくり。(規制をかける)
- 山を伐採することにより景観がよくなる。
- 河津浜との距離感をなくして、地域の人々にもっと利用してほしい。
- テトラポッドは必要なのか。(防災の視点と景観の視点)
- 河津浜のテトラポッドを撤去して、以前のようにサーファーが来るようにする。

花のまち河津を印象づける景観の保全、育成

まちのシンボルとなっている河津川沿いの河津桜をはじめ、花菖蒲やバラなどこれまでに培ってきた「花のまち河津」を印象づける魅力ある景観の保全・育成を図ります。

◆取り組み◆

- ▶適切な保護・管理による、河津川と河津桜の並木が一体となった美しい景観の保全
- ▶新たな場所への河津桜の計画的な植栽による、河津桜を楽しむことができる新たな景観の育成（河川法の規制により、今後堤防に影響を与える場所への植栽ができないことへの対応）
- ▶玄関口となる河津駅周辺、河津桜観光交流館などの多くの観光客が訪れる観光施設周辺、主要な幹線道路の沿道における花による演出や緑化の推進

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 河津川沿いの桜並木をメインとした充実が必要。河津桜を見に訪れるリピーターもいる。その人たちが満足するような工夫を。
- 河津川沿いの桜を上から眺めることができる場所がもっとあってもよい。
- 川沿いの桜が伐採されている。桜の公園などの整備を。

歴史・文化資源の保全・活用

古くから守り、受け継がれてきた社寺や古木等が創り出す、歴史・文化を感じさせる雰囲気や景観を保全・継承します。

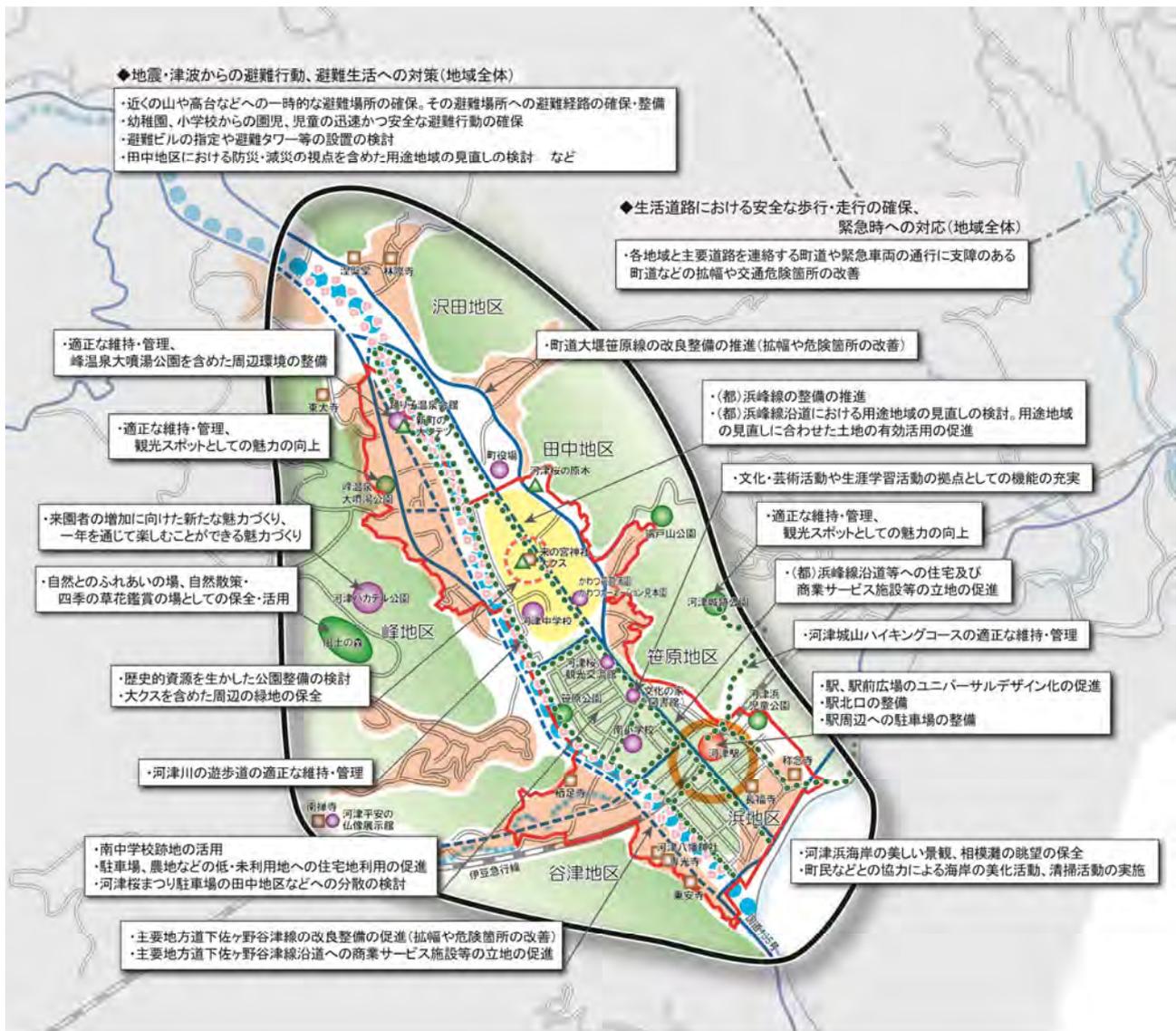
◆取り組み◆

- ▶地域住民等との連携・協力による、来の宮神社や河津八幡神社などの歴史・文化資源の保全・継承
- ▶新たな地域の魅力づくりへの歴史・文化資源の活用の検討

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 神社などのPRが必要。
- 歴史マップを作成し観光の活性化を図る。
- 魅力的な様々な資源（歴史等）があるため、その掘り起こし、ネットワーク化を図る。

◆ まちなか地域 方針図 ◆



凡例

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  河津駅周辺におけるにぎわいや魅力の回復
(新たな商業サービス施設等の立地の促進 など) |  整備された公園の充実 |
|  土地区画整理事業施行区域内における適正な土地利用の形成
(低未利用地への住宅地利用の促進 など) |  貴重な樹木の保全・活用
(憩いの場、観光交流の場としての活用 など) |
|  田中地区における計画的な土地利用の誘導
(地区計画制度の活用等による計画的な土地利用の誘導 など) |  まちなかを取り囲む良好な自然景観の保全
(森林の適切な維持・管理 など) |
|  既存の温泉地や住宅地における快適な環境づくり
(幅員の狭い生活道路などの生活基盤の整備・改善 など) |  適切な保護・管理による河津川と河津桜が一体となった景観の保全
河津川堤防の外側などへの計画的な植栽 |
|  まちの骨格となる主要な道路の計画的な整備・改善
(都市計画道路の未整備区間における計画の見直しの検討 など) |  歴史・文化資源の保全・活用 |
|  公共施設や観光施設等を結ぶ歩行者ネットワークの形成 |  主な公共施設、観光レクリエーション施設 |
|  交通結節点となる河津駅の利便性の向上 |  用途地域界 |

(4)地域づくりのための協働のあり方

地域づくりの方針の中から、地域や住民がより関わりを持ち、協力して進めていくことが必要な方針について、住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージを整理します。

地域づくりの方針	住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージ
<p>河津駅周辺における にぎわいや魅力の回復</p> <p>にぎわいや魅力が失われつつある河津駅周辺の商業地において、まちの中心的な商業地及び交流の拠点として機能の充実、活力の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none">○住民は、河津駅周辺の商業地に対して関心を持ち、買物を楽しむ、商業地のイベントへ参加するなど、関わりやつながりを持ちます。○商業地活性化の中心的な役割を担う事業者(商店主)は、より良いサービスの提供、買物しやすい環境づくりなど、町民に愛され、必要とされる商業地づくりに取り組みます。○商工会を中心として、観光や高齢者福祉等の団体、自治会、学校等と連携・協力して、中心商業地の活性化について検討するなど、みんなで活性化の取り組み、活動に参加・協力します。
<p>生活道路における安全な歩行・ 走行の確保、緊急時への対応</p> <p>歩行上、走行上危険性の高い道路や緊急車両の通行に支障のある道路など、生活道路や通学路の整備・改善を進め、安全性・利便性の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none">○地域として交通危険箇所や狭小幅員箇所を抽出、整理し、町に整備・改善を投げかけます。また、拡幅に伴う土地の提供など、生活道路の整備・改善に協力します。○日頃から地域内の道路の状況(老朽化に伴う破損など)に対して意識を持ち、破損箇所を早期発見するなど、道路の維持・管理に協力します。
<p>整備された公園の充実</p> <p>既存の公園において、多くの人に利用され親しまれる公園をめざし、各公園の特色や機能等を生かしながら魅力の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none">○憩いの場や交流の場として公園を積極的に利用します。また、多くの地域住民が利用することで見えてくる課題や新たな要望等を踏まえ、より利用しやすい環境づくりや魅力の向上等に向けた検討会や取り組みに参加・協力します。○清掃活動や花壇等による美化活動など、公園の維持・管理に参加・協力します。
<p>まちなかを取り囲む 良好な自然景観の保全</p> <p>地域を取り囲む緑豊かな山々や相模灘に面する河津浜海岸など、豊かな自然が創り出す美しい景観を保全・継承します。</p>	<ul style="list-style-type: none">○住民は、恵まれた自然環境に感謝するとともに、森林の保全活動や河川、海岸の美化活動、清掃活動等に参加・協力します。○森林や河川へごみを捨てないなど、良好な自然環境、景観の保全に対する意識を高めます。○新たな開発や土地利用転換を行う際は、周辺の自然環境や景観との調和に配慮します。

地域づくりの方針

花のまち河津を印象づける

景観の保全、育成

まちのシンボルとなっている河津川沿いの河津桜をはじめ、花菖蒲やバラなどこれまでに培ってきた「花のまち河津」を印象づける魅力ある景観の保全・育成を図ります。

歴史・文化資源の保全・活用

古くから守り、受け継がれてきた社寺や古木等が創り出す、歴史・文化を感じさせる雰囲気や景観を保全・継承します。

住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージ

- 河津桜の保護活動や新たな植栽などの取り組みに参加・協力します。
- 各家庭において緑化や花による演出に取り組みます。また、花の会による花壇づくりなどの活動に参加・協力します。
- 駅周辺における花による演出や幹線道路の緑化活動などに参加・協力します。

- 地域の歴史・文化にふれあい、学ぶ機会を増やすなど、歴史・文化の保全、継承に対する意識を高めます。
- 社寺や古木等の歴史・文化資源の清掃活動や説明板の設置などの環境整備の取り組みに参加・協力します。
- 歴史・文化資源を憩いの場や観光資源として活用するための取り組み等について検討し、関係機関に投げかけます。

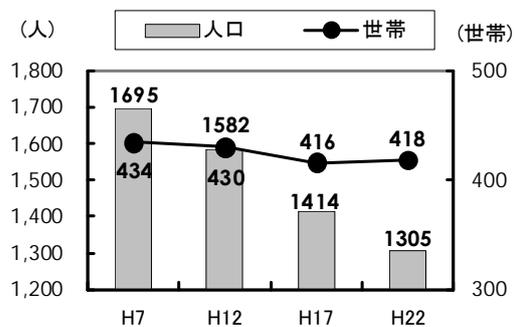
3 北部地域

(1) 地域を取り巻く環境

位置等

○本地域は河津都市計画区域の北部に位置し、湯ヶ野地区、下佐ヶ野地区、上佐ヶ野地区、天川地区、筏場地区、大堰地区から構成されます。

○平成 22 年の人口・世帯数は、1,305 人、418 世帯となっています。世帯数は、ほぼ横ばいの状況となっていますが、人口は減少が続き、平成 7 年から 22 年にかけて約 400 人が減少しました。



資料：国勢調査(湯ヶ野、下佐ヶ野、上佐ヶ野、天川、筏場、大堰の合計)

土地利用

○地域の大部分が森林や丘陵地に広がる農地となっており、河津川、国道 414 号、主要地方道下佐ヶ野谷津線沿いの平坦地や上佐ヶ野地区の丘陵地に、古くからの農山村集落地が形成されています。また、一部の山間地は別荘地として利用されています。

○湯ヶ野地区には、「伊豆の踊子」の舞台として有名な抒情あふれる温泉地が形成されています。

土地利用に関わる主な法適用状況

➤ 農業振興地域



▲湯ヶ野の集落



▲湯ヶ野の温泉地



▲上佐ヶ野の集落

都市施設

- 主要幹線道路の国道 414 号、幹線道路の主要地方道下佐ヶ野谷津線が通過しています。また、伊豆半島における広域交通、高速交通の軸となる伊豆縦貫自動車道の整備が進められています。
- 集落地内の生活道路は、老朽化に伴う破損・損傷に対する修繕などは行われてきましたが、計画的な拡幅整備などは遅れており、ほとんどが幅員の狭い道路となっています。
- 公共交通は、国道 414 号、主要地方道下佐ヶ野谷津線が自主運行バス、町営バスのルートになっているものの、運行本数は限られています。また、上佐ヶ野地区は、公共交通の空白地域となっています。
- 地域内の主要な公園として、上佐ヶ野親水公園が整備されています。また、鉢ノ山一帯が、伊豆元気わくわくの森公園として、セラピーロードなど自然が持つ安らぎや癒しを楽しむことができる環境が整備されています。
- 地域内の主な公共公益施設として西小学校、主な観光施設として伊豆の踊子文学碑、河津ブルーベリーの里、伊豆元気わくわくの森公園があります。

主な都市施設		
道路・交通施設	鉄道	—
	国・県道 (3路線)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 伊豆縦貫自動車道(整備中) ▶ 国道 414 号、主要地方道下佐ヶ野谷津線
	都市計画道路	—
公園・緑地	都市公園	—
	その他の主な公園	▶ 上佐ヶ野親水公園
	主な緑地	▶ 伊豆元気わくわくの森公園
その他の公共公益施設等	官公庁施設	▶ 下佐ヶ野コミュニティ防災センター
	教育施設	▶ 西小学校
	その他	▶ 国民宿舎かわづ



▲国道 414 号



▲上佐ヶ野親水公園



▲下佐ヶ野コミュニティ防災センター

都市環境

- 湯ヶ野地区の国道 414 号に近接する斜面地に急傾斜地崩壊危険区域（2 箇所）、佐ヶ野川、桃ノ木沢などの流域に砂防指定地（5 箇所）が指定されているほか、集落地の背後にある山間地の沢や川が土石流危険溪流となっており、台風や集中豪雨時における土砂災害が懸念されます。
- 地域内に点在する集落地では、森林や農地に囲まれた昔ながらの農山村景観が残されています。また、湯ヶ野の温泉地では、伊豆の踊子ゆかりの抒情あふれるまちなみの景観が残されています。
- 豊かな自然環境とのふれあいや美しい自然景観を楽しむことができる、佐ヶ野溪谷遊歩道や伊豆元気わくわくの森公園へのハイキングコース、河津七滝につながる踊子歩道が整備されています。

災害防止に関わる主な法適用状況

- ▶ 急傾斜地崩壊危険区域(2 箇所)
- ▶ 砂防指定地(5 箇所)

主な景観要素

自然の景観 (みどりと水の景観)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域を取り囲む緑豊かな山々。伊豆元気わくわくの森公園。 ▶ 河津川、佐ヶ野川の清流。 ▶ 棚田(川津筏場地区など)。
歴史・文化の景観	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 三養院、寿雲院などの社寺。 ▶ 伊豆の踊子文学碑。
暮らしの景観	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 山々、農地に囲まれた農山村集落の景観 ▶ 湯ヶ野の温泉地の景観
その他 (花や温泉など)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 踊子歩道。鉢の山森林セラピーロード(伊豆元気わくわくの森公園内)。 ▶ 佐ヶ野溪谷遊歩道。



▲佐ヶ野川

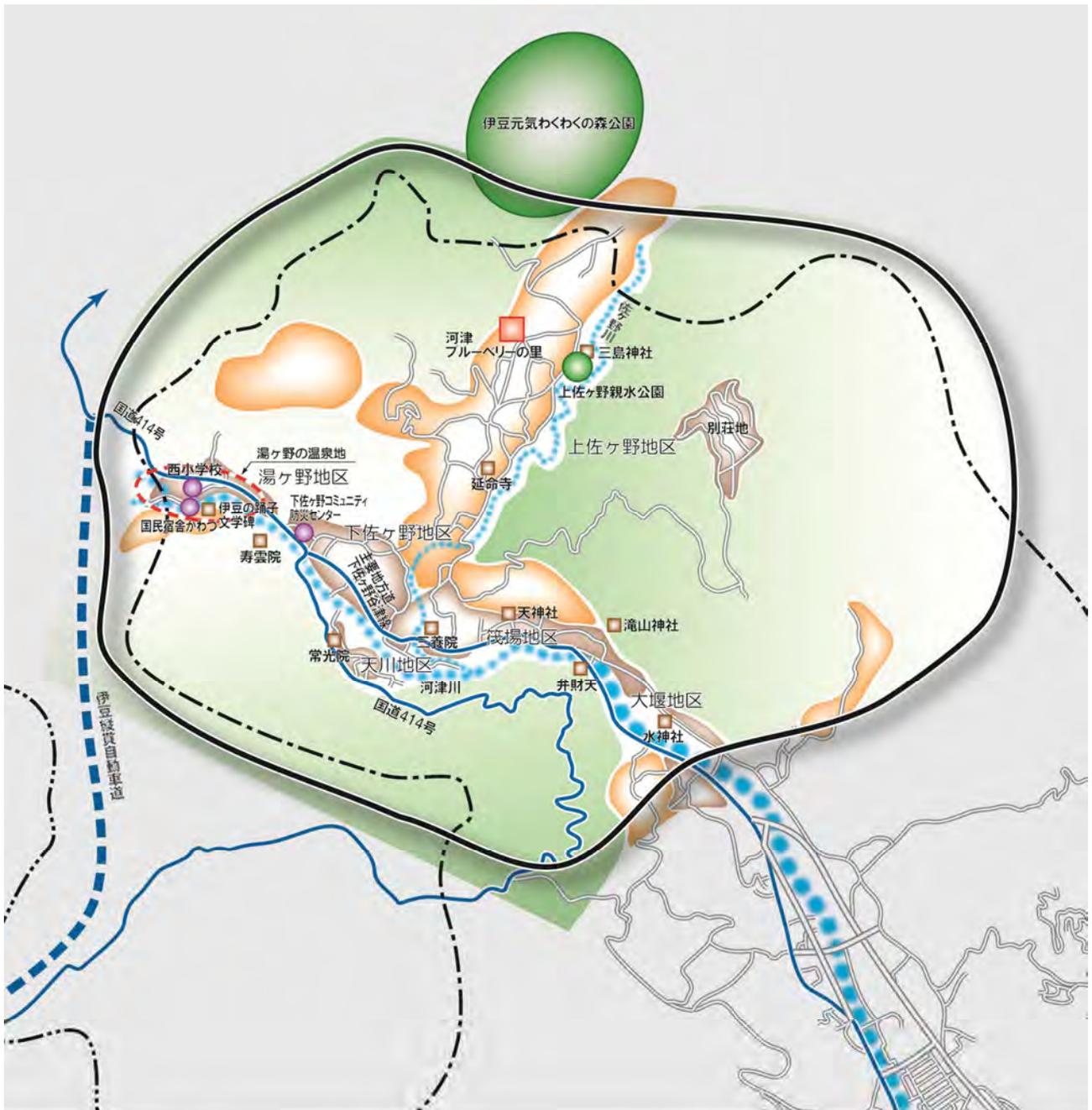


▲伊豆の踊子文学碑



▲踊子歩道

◆ 北部地域 特性図 ◆



凡例

【主な土地利用】

- 山林
- まとまりのある農地
- 集落地、別荘地
- 河川

【主な施設等】

- 国道、県道(整備済)
- 伊豆縦貫自動車道(未整備)
- 主な公園・緑地
- 主な公共公益施設等
- 主な観光レクリエーション施設等
- 主な歴史・文化資源

(2) 地域づくりの目標

全体構想及び地域を取り巻く環境等を踏まえ、地域づくりの目標を次のように設定します。

農山村の良好な環境に囲まれながら、 さまざまなふれあい、体験を楽しむことができる地域

豊かな自然や農地と調和した農山村集落の良好な環境、美しい風景の保全を基本としつつ、生活基盤の整備・充実、土砂災害等に対する安全性の確保など、住民の暮らしの安全性・快適性・利便性を高める地域づくりを進めます。

伊豆元気わくわくの森公園、河津ブルーベリーの里、伊豆の踊子の舞台となった湯ヶ野温泉など、自然や農業、文学などとのさまざまなふれあい、ふるさと体験を楽しむことができる地域です。今後もこうした地域の魅力・特性を生かしながら、地域の魅力づくり、活性化を進めます。

(3)地域づくりの方針

土地利用に関する主な方針

農山村集落としての環境との調和を基本とした土地利用の形成

森林、農地に囲まれた農山村集落としての緑豊かな環境の維持・調和を基本とした土地利用の形成を促進します。

◆取り組み◆

- 河津町森林整備計画に基づく、森林の計画的かつ適正な管理・育成
- 農業振興策等との連携による、斜面地に広がる果樹園などのまとまりある農地の保全、遊休化の抑制
- 農山村集落の良好な環境を悪化させる恐れのある無秩序な土地利用転換、開発への適切な対応
- 行政、農家、農協等との協働による、鳥獣等による農作物被害への対応の強化

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 集落等から見える山林をきれいに手入れする。荒地となっているところが多い。
- 稲作が盛ん。もっと広げるべき。
- 農業従事者の高齢化、担い手の不足など、現時点においても農業を取り巻く環境は厳しい。
- 鹿、いのししが出る。鳥獣被害が問題。

集落地における居住環境の改善・向上

地域に点在する集落地において、各集落を取り巻く環境や課題に応じた生活基盤の整備・改善などを進め、居住環境の改善・充実を図ります。

◆取り組み◆

- 集落地内の生活道路や用排水路などの生活基盤の改善・充実
- 地域住民等の参加による、上佐ヶ野地区への公共交通の導入に向けた検討
- 集落地内のコミュニティ(助け合い)の維持・充実、点在する各集落間の交流・連携の強化

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 農山村としての環境を守るだけでは、これまでと同じように人口減少が進んでしまう。耕作放棄地等に町営住宅（農地付住宅など）を整備する。
- 緊急車両が進入できる程度の幅員を確保してほしい。
- バスの本数が少ない。バスが走っていないため、毎日子どもをバス停まで送っている。

様々な体験を楽しむことができる土地活用の検討

伊豆元気わくわくの森公園、河津ブルーベリーの里、伊豆の踊子の舞台となった湯ヶ野温泉など、地域の特色・魅力を生かし、多くの方が様々なふれあいや体験を楽しむことができる土地の有効活用を検討します。

◆取り組み◆

- ▶ 森林セラピーの森、癒しの森として整備された伊豆元気わくわくの森公園の適正な維持・管理、自然とのふれあいの場としての魅力の向上
- ▶ 伊豆元気わくわくの森公園の利用促進
- ▶ 踊子歩道、佐ヶ野遊歩道などの改善・充実による、自然とのふれあいを楽しむことができる環境づくり
- ▶ 河津ブルーベリーの里のような、地域の活力、都市住民等との交流を創出する新たな土地活用の検討
- ▶ 湯ヶ野地区における、「文学の里」としてのさらなるイメージアップ、温泉の活用
- ▶ 国民宿舎の見直し、代替えの検討
- ▶ 伊豆縦貫自動車道のインターチェンジを生かした、地域の新たな活力や交流を創出する土地活用の検討

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 地域には魅力がたくさんある。それをいかに上手く利用するかが重要。行政や伊豆急などの協力が必要。
- 北部にも桜まつりの会場をつくる。
- 伊豆元気わくわくの森公園はあまり利用されていない。モトクロスを楽しみに来る人がほとんど。有効活用されていなくてもいい。マウンテンバイクやモトクロスを楽しむグループ等を誘客して利用料をとる。
- 伊豆元気わくわくの森公園までバスで行くことができたら利用が増えるかもしれない。もっとPRも必要。
- 河津ブルーベリーの里は上佐ヶ野地区が運営・管理しているが、高齢化が進んでいる。今後の運営が課題。
- 大きな温泉レジャー施設をつくる。温泉にふれることができる場所を複数つくる。
- 湯ヶ野温泉も高齢化・後継者不足の問題から旅館が減っている。また宿泊客も減少している。地区に起爆剤となるようなものがない。
- 踊子文学碑まで車で行くことができない。観光バスが近くまで行くことができれば訪れやすくなると思うが。
- 湯ヶ野地区に桜のスポット（名所）を整備する。
- 石畳をきれいに再整備するなど、歩くために湯ヶ野を訪れるような環境を整える。
- 歩きながら楽しむことができる温泉（温泉の歩道）、財産区の温泉の活用などを検討する。
- 国民宿舎の代替えを検討する。（中途半端なものをつくってもよくない。高級旅館など。）
- 国民宿舎は地熱発電を考えたらどうか。タービンを回して発電する。
- 伊豆縦貫自動車道インターチェンジ付近に噴湯をつくり、観光客を集める。
- 伊豆縦貫自動車道インターチェンジ周辺を活用する場合は、大きな駐車場を有する道の駅など、大規模なものでなくては効果がないと思う。
- 伊豆縦貫自動車道の残土を活用できないか。（埋め立てて活用する）

国・県道の整備・改善

まちの骨格となり、日常の町民生活や活動、観光交流等を支える国・県道の計画的な整備・改善を進めます。

◆取り組み◆

- ▶伊豆半島における広域交通、高速交通の軸となる伊豆縦貫自動車道の整備の促進
- ▶主要地方道下佐ヶ野谷津線の適正な維持・管理、交通危険箇所の改善などの改良整備の促進

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 国道、県道に歩道を整備する。

生活道路における安全な歩行・走行の確保、緊急時への対応

歩行上、走行上危険性の高い道路や緊急車両の通行に支障のある道路など、生活道路や通学路の整備・改善を進め、安全性・利便性の向上を図ります。

◆取り組み◆

- ▶主要地方道下佐ヶ野谷津線と上佐ヶ野や湯ヶ野、小鍋などの各地域(集落)を連絡する主要な町道の整備・改善
- ▶その他、緊急車両の通行に支障のある町道、通学路における、狭あい区間の拡幅や見通しの悪い交差点などの交通危険箇所の改善

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 上佐ヶ野の道路が狭い。
- 緊急車両が進入できる程度の幅員を確保してほしい。
- ファミリー&リゾート川ばたまでの道が狭い。

地域住民の身近な公園・憩いの場の充実

既存の公園において、適正な維持・管理のもと、公園としての利用のしやすさ・楽しさ・魅力の向上を図ります。公園・憩いの場が整備されていない地区においては、地域の状況等を踏まえつつ、新たな公園・憩いの場の整備を検討します。

◆取り組み◆

- 上佐ヶ野親水公園、下佐ヶ野公園における、地域住民等との連携・協力による適正な維持・管理。地域住民の要望等を取り入れた、より利用しやすい環境づくり
- 川津筏場地区、湯ヶ野地区などへの新たな公園・広場(地域住民の憩いの場、災害時における避難場所としての機能等に配慮)の整備の検討。

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 上佐ヶ野親水公園、下佐ヶ野公園はほとんど利用されていない。下佐ヶ野公園のテニスコートについては、町と活用方法等について検討している。
- 地域全体が公園のような環境。そのため、新たな公園整備への期待・要望は少ない。
- 災害時の避難場所(テントの設営など)としての公園(スペース)は必要。耕作放棄地を活用できるのではないかな。
- 公園に防災機能を持ったベンチ(災害時に担架として活用)を設置したらどうか。
- スポーツができる場所がない。

地震時や集中豪雨時における土砂災害等への対策

集落地の後背地が急傾斜となっている地域などにおいて、地震時や集中豪雨時に想定される土砂災害等に対する安全性の向上を図ります。

◆取り組み◆

- ▶ 森林の適切な保護・育成(土砂流出防備等の機能の維持)
- ▶ 砂防指定地、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域などに指定された斜面地等の適切な管理。砂防施設や擁壁工の整備などによる対策の推進
- ▶ 主要地方道下佐ヶ野谷津線と各地域(集落)を連絡する主要な町道における土砂災害対策
- ▶ 土砂災害や建物の倒壊により主要な町道が寸断し、地域(集落)が孤立した場合の避難等の対応策の検討
- ▶ 広域避難場所となる西小学校の適切な維持・管理。防災用資器材や備蓄品などの整備・充実

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 土砂災害が不安。過去に水害や土砂災害等の被害にあった場所等について不安がある。
- 完全に孤立してしまう地域(集落)はないが、国道の寸断により町全体が孤立してしまう心配はある。

農山村の風景・雰囲気の保全・継承

恵まれた自然環境に囲まれ、農地と集落が調和している昔ながらの農山村の風景・雰囲気を保全・継承します。

◆取り組み◆

- ▶ 森林、農地の適切な維持・管理、荒廃化の抑制
- ▶ 河津川、佐ヶ野川の自然の姿が残る美しい河川景観の保全
- ▶ 社寺等の歴史・文化資源の保全・継承(歴史・文化を感じることができる雰囲気や景観の保全)
- ▶ 良好な農山村の風景や雰囲気を損なう恐れのある開発等への適切な対応

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 良好な山の風景、川の風景。
- 集落等から見える山林をきれいに手入れする。荒地となっているところが多い。
- 保安林の指定のメリット(管理面など)をPRすれば、保安林の指定が広がり、管理された森林が増えるのではないか。

湯ヶ野温泉の落ち着いた景観・雰囲気の保全・育成

伊豆の踊子ゆかりの抒情あふれる温泉地としての良好な環境、景観を保全するとともに、温泉地が一体となって伊豆の踊子を生かした景観の演出、イメージアップに取り組みます。

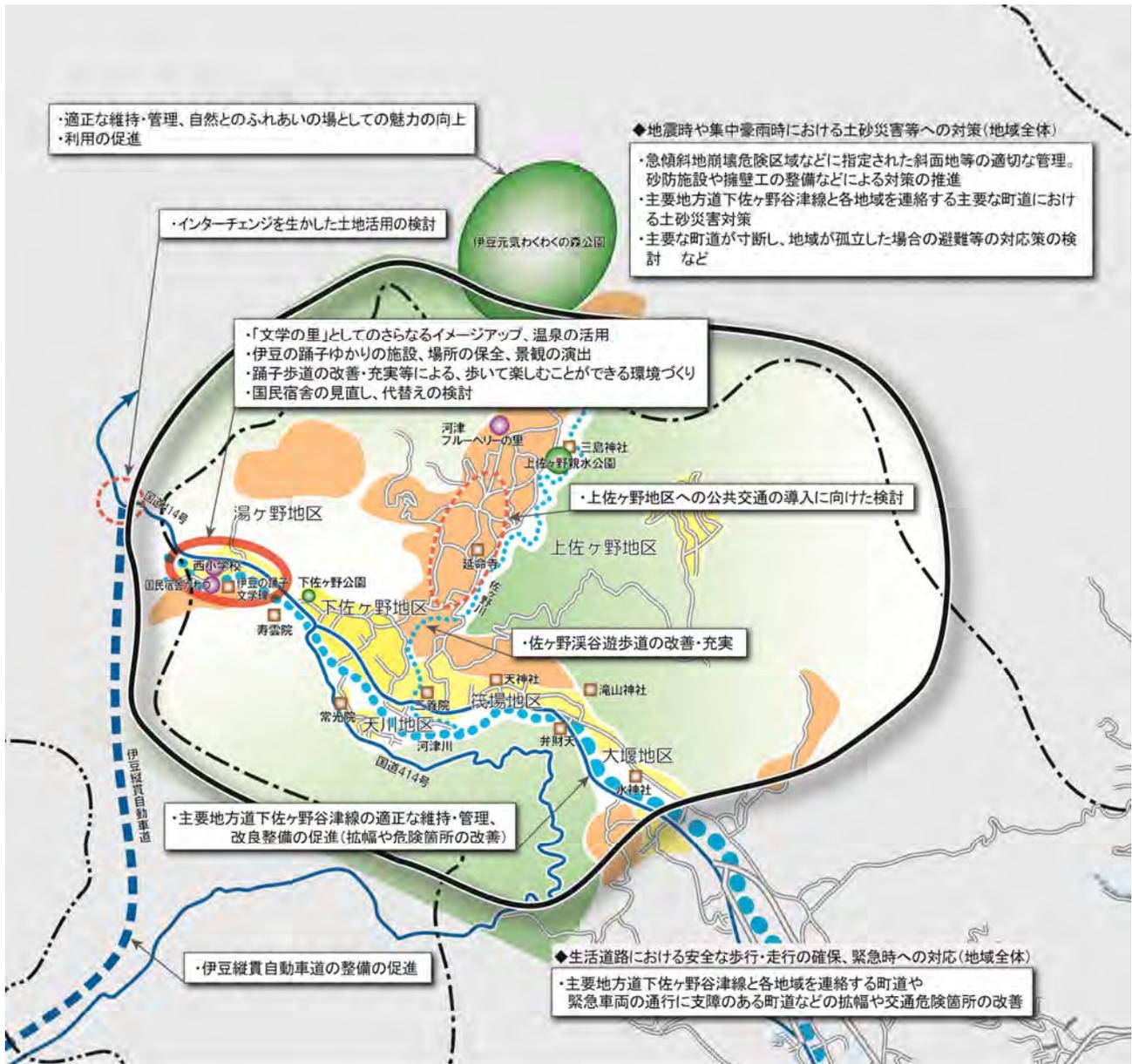
◆取り組み◆

- 古くからの温泉宿が建ち並ぶ、昔ながらの情緒ある佇まい・雰囲気 of 保全（建築物等のデザインや色彩の適切な誘導など）
- 森林や河津川の良好な自然景観を楽しむことができる環境の保全
- 伊豆の踊子ゆかりの施設、場所の保全、景観の演出
- 踊子歩道の改善・充実等による、自然景観や抒情あふれる温泉地の雰囲気を歩いて楽しむことができる環境づくり

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 伊豆縦貫自動車道インターチェンジの建設にあわせて、湯ヶ野のイメージアップを図る。
- 石畳をきれいに再整備するなど、歩くために湯ヶ野を訪れるような環境を整える。
- 歩きながら楽しむことができる温泉（温泉の歩道）、財産区の温泉の活用などを検討する。
- 桜のスポット（名所）を整備する。
- 昔は外灯による雰囲気づくりなどに取り組んでいたが、厳しい財政状況の中で行われなくなってしまった。

◆ 北部地域 方針図 ◆



凡例

- | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
|  | 農山村集落としての環境との調和を基本とした土地利用の形成
(森林の計画的かつ適正な管理・育成 など) |  | 農山村の風景・雰囲気への保全・継承
(社寺等の歴史・文化資源への保全・継承) |
|  | 農山村集落としての環境との調和を基本とした土地利用の形成
(まともある農地の保全、荒廃化の抑制 など) |  | 湯ヶ野温泉の落ち着いた景観・雰囲気への保全・育成
(昔ながらの情緒ある佇まい・雰囲気への保全 など) |
|  | 集落地における居住環境の改善・向上
(生活道路や用排水路などの生活基盤の改善・充実 など) |  | 主な公共公益施設、観光レクリエーション施設 |
|  | 国・県道の整備・改善 |  | 都市計画区域界 |
|  | 地域住民の身近な公園・憩いの場の充実
(適正な維持・管理、より利用しやすい環境づくり など) |  | 行政区界 |
|  | 農山村の風景・雰囲気への保全・継承
(美しい河川景観への保全) | | |

(4)地域づくりのための協働のあり方

地域づくりの方針の中から、地域や住民がより関わりを持ち、協力して進めていくことが必要な方針について、住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージを整理します。

地域づくりの方針	住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージ
<p>様々な体験を楽しむことができる 土地活用の検討</p> <p>伊豆元気わくわくの森公園、河津ブルーベリーの里、伊豆の踊子の舞台となった湯ヶ野温泉など、地域の特色・魅力を生かし、多くの方が様々なふれあいや体験を楽しむことができる土地の有効活用を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の魅力の一つとして、「伊豆元気わくわくの森公園」を積極的に利用するとともに、魅力の向上に向けた取り組みや草刈などの維持・管理の活動に参加・協力します。 ○地域で運営・管理している「河津ブルーベリーの里」の魅力の向上を図ります。また、運営の継続に向けた体制や仕組みについて検討します。 ○国民宿舎の見直しや伊豆縦貫自動車道インターチェンジ周辺の土地活用など、これからの地域の活性化や魅力づくりについて、町と一緒に考えて、取り組みます。
<p>生活道路における安全な歩行・走行の確保、緊急時への対応</p> <p>歩行上、走行上危険性の高い道路や緊急車両の通行に支障のある道路など、生活道路や通学路の整備・改善を進め、安全性・利便性の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域として交通危険箇所や狭小幅員箇所を抽出、整理し、町に整備・改善を投げかけます。また、拡幅に伴う土地の提供など、生活道路の整備・改善に協力します。 ○日頃から地域内の道路の状況(老朽化に伴う破損など)に対して意識を持ち、破損箇所を早期発見するなど、道路の維持・管理に協力します。
<p>地域住民の身近な公園・憩いの場の充実</p> <p>既存の公園において、適正な維持・管理のもと、公園としての利用のしやすさ・楽しさ・魅力の向上を図ります。公園・憩いの場が整備されていない地区においては、地域の状況等を踏まえつつ、新たな公園・憩いの場の整備を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○憩いの場や交流の場として公園を積極的に利用します。また、多くの地域住民が利用することで見えてくる課題や新たな要望等を踏まえ、より利用しやすい環境づくりや魅力の向上等に向けた検討会や取り組みに参加・協力します。 ○清掃活動や花壇等による美化活動など、公園の維持・管理に参加・協力します。 ○川津筏場地区や湯ヶ野地区などにおいて、新たな公園・広場の整備・確保について検討します。また、新たに公園・広場を整備する際は、公園の計画段階から参加・協力します。

地域づくりの方針

農山村の風景・雰囲気の保全・継承

恵まれた自然環境に囲まれ、農地と集落が調和している昔ながらの農山村の風景・雰囲気を保全・継承します。

住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージ

- 森林や農地の所有者は、適切な管理・手入れに努め、荒れたままの状態にならないように気をつけます。
- 農地や河川にごみを捨てないなど、良好な農山村の環境、景観の保全に対する意識を高めます。また、河川の清掃活動等に参加・協力します。
- 新たな開発や土地利用転換を行う際は、良好な農山村の風景や環境との調和に配慮します。
- 地域の歴史・文化にふれあい、学ぶ機会を増やすなど、歴史・文化の保全、継承に対する意識を高めます。
- 社寺等の歴史・文化資源の清掃活動や説明板の設置などの環境整備の取り組みに参加・協力します。

湯ヶ野温泉の落ち着いた

景観・雰囲気への保全・育成

伊豆の踊子ゆかりの抒情あふれる温泉地としての良好な環境、景観を保全するとともに、温泉地が一体となって伊豆の踊子を生かした景観の演出、イメージアップに取り組めます。

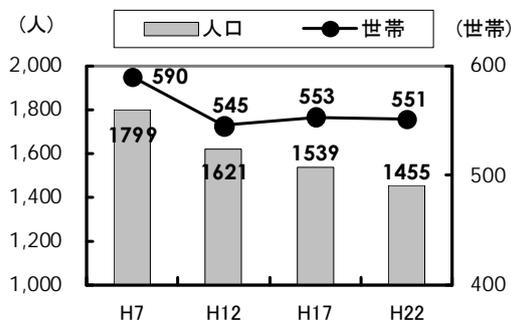
- 宿泊施設の経営者などが中心となり、温泉地としての雰囲気への保全やイメージアップ等について検討し、良好な環境、景観づくりなどに取り組めます。

4 東部地域

(1) 地域を取り巻く環境

位置等

- 本地域は河津都市計画区域の東部に位置し、見高浜地区、長野地区、見高入谷地区（一部）から構成されます。
- 平成 22 年の人口・世帯数は、1,455 人、551 世帯となっています。世帯数は、ほぼ横ばいの状況となっていますが、人口は減少が続き、平成 7 年から 22 年にかけて約 350 人が減少しました。



資料：国勢調査（見高浜、長野、見高入谷の合計）



土地利用

- 地域の大部分が森林や農地となっています。
- 地域東部（朝日台、長野）の比較的緩やかな丘陵地、台地には、まとまりある農地が広がり、農地の中に点在するように集落地が形成されています。
- 国道 135 号と海岸に挟まれた海岸沿いには、旅館や民宿などが立地する今井浜温泉地や集落地が形成されています。また、今井浜海岸駅の背後に広がる丘陵地、山地には、ホテルや旅館、企業の保養施設の立地、別荘地としての利用がみられます。しかし、バブル経済の崩壊以降、保養施設や別荘地としての利用は減少しています。
- 相模灘に面する海岸線一帯は、富士箱根伊豆国立公園に指定されています。白砂青松の今井浜海岸や漁港、岩場など変化に富んだ美しい海岸が形成されています。今井浜海岸は良好な海水浴場として夏のシーズンには多くの海水浴客でにぎわいをみせているものの、その数は減少傾向にあります。

土地利用に関わる主な法適用状況

- 農業振興地域
- 富士箱根伊豆国立公園
- 海岸保全区域



▲見高浜の集落



▲今井浜海岸とホテル

都市施設

○主要幹線道路の国道 135 号が海岸沿いを通過しています。

○集落地内の生活道路は、基幹農道の整備や老朽化に伴う破損・損傷に対する修繕などは行われてきましたが、計画的な拡幅整備などは遅れており、ほとんどが幅員の狭い道路となっています。

○公共交通は、今井浜温泉、今井浜海岸の最寄り駅となる伊豆急行線今井浜海岸駅が設置されています。また、国道 135 号および町道見高入谷 1 号線が自主運行バスのルートになっているものの、運行本数は限られています。

○地域内には地域住民の身近な遊び場、憩いの場となる公園や広場は整備されていません。

○地域内の主な公共公益施設として東小学校、東河環境センター、主な観光施設として今井浜海水浴場、伊豆見高入谷高原温泉などがあります。

○伊豆今井浜病院(2次救急医療機関)が完成し、地域医療の核として期待されます。

主な都市施設		
道路・交通施設	鉄道	▶ 伊豆急行線(今井浜海岸駅)
	国・県道(1路線)	▶ 国道 135 号
	都市計画道路	—
公園・緑地	都市公園	—
	その他の主な公園	—
	主な緑地	—
その他の公共公益施設等	官公庁施設	—
	教育施設	▶ 東小学校
	その他	▶ 東河環境センター ▶ 伊豆見高入谷高原温泉 ▶ 伊豆今井浜病院



▲ 国道 135 号



▲ 今井浜海岸駅



▲ 東河環境センター

都市環境

- 見高浜地区と見高入谷地区に急傾斜地崩壊危険区域（各1箇所）が指定されているほか、集落地の背後にある山間地の沢や川が土石流危険溪流となっており、台風や集中豪雨時における土砂災害が懸念されます。また、海岸に接する今井浜、見高浜の集落においては、震災時の津波被害についても懸念されます。
- 今井浜海岸は、白砂青松の美しい砂浜からなる良好な海辺の景観が形成されています。また、広大な相模灘の眺望を楽しむことができます。
- 漁港付近の漁村の面影が残る集落地や台地、丘陵地に形成された果樹園に囲まれた集落地、山あいの別荘地、企業保養施設の集積地など、様々な暮らしの景観が形成されています。
- 豊かな自然環境とのふれあいや美しい自然景観を楽しむことができる、河津城山ハイキングコースや天城三筋山遊歩道が整備されています。

災害防止に関わる主な法適用状況

- ▶ 急傾斜地崩壊危険区域(2箇所)
- ▶ 災害危険区域(急傾斜地崩壊危険区域以外)(2箇所)

主な景観要素

自然の景観 (みどりと水の景観)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域を取り囲む緑豊かな山々。 ▶ 今井浜海岸。今井浜海岸から望む相模灘。 ▶ 果樹園等の農地。
歴史・文化の景観	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 見高神社、真乗禅寺などの社寺。 ▶ 段間遺跡。
暮らしの景観	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 下河津漁港と一体となった漁村の景観。 ▶ 山々、農地に囲まれた農山村集落の景観。 ▶ 今井浜の温泉地(ホテル)。 ▶ 別荘地、企業保養地の集積地の景観。
その他 (花や温泉など)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 伊豆見高入谷高原温泉。 ▶ 河津城山ハイキングコース、天城三筋山遊歩道。



▲ 地域を取り囲む山々

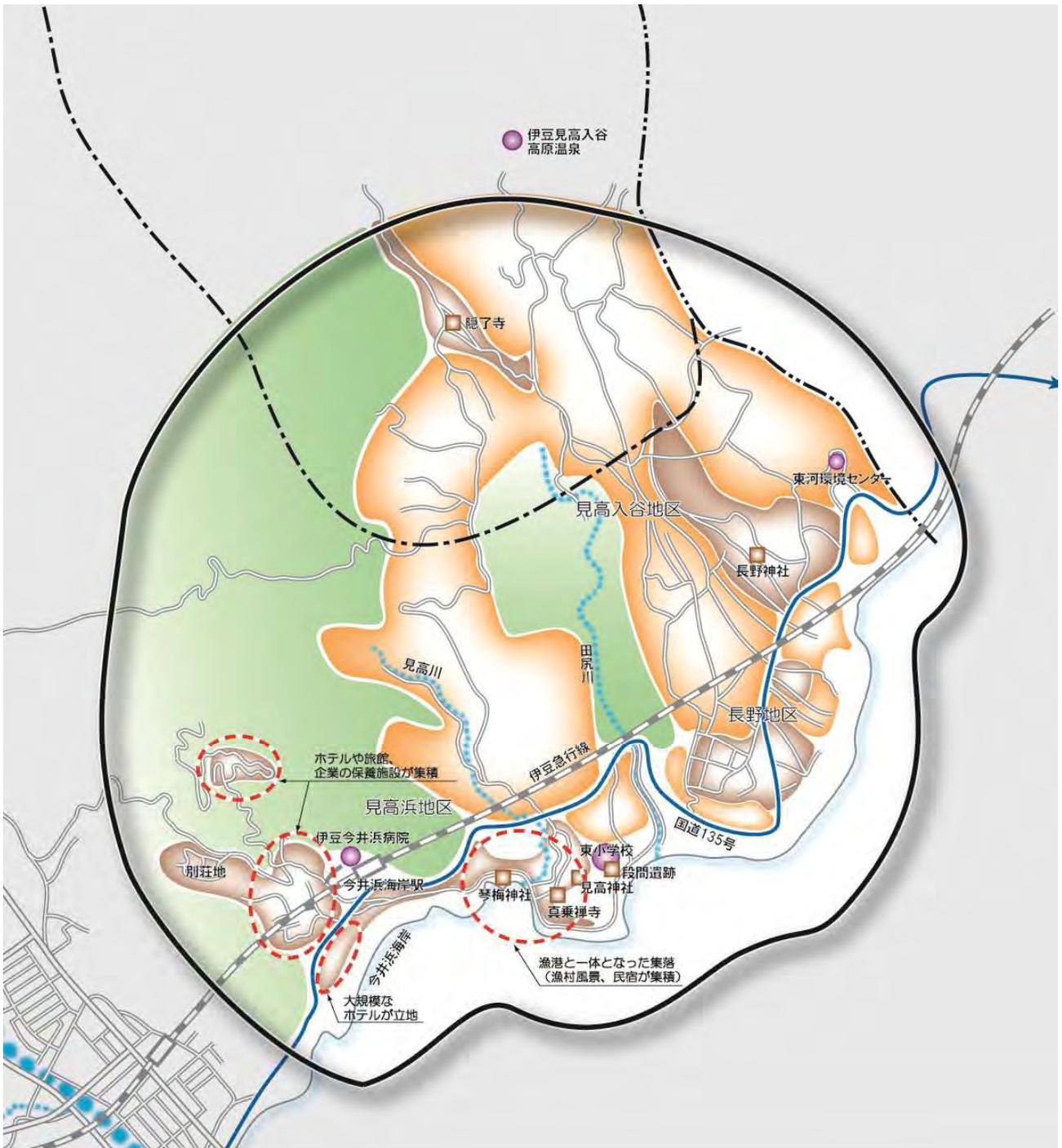


▲ 今井浜海岸



▲ 見高神社

◆ 東部地域 特性図 ◆



凡例

【主な土地利用】

- 山林
- まとまりのある農地
- 集落地、別荘地
- 河川

【主な施設等】

- 国道、県道(整備済)
- 主な公共公益施設等
- 主な歴史・文化資源

(2) 地域づくりの目標

全体構想及び地域を取り巻く環境等を踏まえ、地域づくりの目標を次のように設定します。

**海と山に囲まれた良好な環境の中で、
保養地、農山村集落、漁村の面影が残る集落などの
さまざまな暮らしを支え、育む地域**

保養地、農山村集落、漁村の面影が残る集落などの様々な暮らしが営まれている地域です。各地域（集落）を取り巻く環境や抱える課題を踏まえながら、生活基盤の整備・充実、津波や土砂災害等に対する安全性の確保など、町民や観光客が安全で快適に暮らし、過ごすことができる地域づくりを進めます。

(3)地域づくりの方針

土地利用に関する主な方針

農地の保全

丘陵地、台地に広がるまとまりある農地を保全します。

◆取り組み◆

- ▶ 農業振興策等との連携による、丘陵地・台地に広がる果樹園などのまとまりある農地の保全、遊休化の抑制
- ▶ 観光との連携による市民農園や観光農園としての活用、農業・農村体験プログラム等の取り組みの検討
- ▶ 行政、農協、農家等との協働による、鳥獣等による農作物被害への対応の強化

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- みかんがおいしいのに、休んでいるみかん畑が多い。
- 田畑の耕作放棄地が多くなってきた。
- 遊休農地の活用として、農地の借り上げを行い観光農園として整備する。
- 畑を借りて農業をやりたい人もいる。農地の貸し借りが気軽にできるようになればよい。耕作放棄地対策にもつながる。
- 見高入谷地区に農村体験ができる施設を。
- サル、いのししによる畑の作物の被害が問題。鳥獣被害のために農業をやめてしまう人もいる。

集落地における居住環境の改善・向上

沿岸部の見高浜の集落地や、丘陵地・台地に点在する集落地において、生活基盤の整備・改善などを進め、居住環境の改善を図ります。

◆取り組み◆

- ▶ 集落地内の生活道路や用排水路、上水道などの生活基盤の改善・充実
- ▶ 建築物が密集し火災の延焼等が心配される見高浜の集落地における、幅員の狭い道路の改善、オープンスペースの確保などの安全対策
- ▶ 空家対策

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 緊急車両の通行が困難な道路が多い。
- 見高浜地区の集落地内の生活道路の拡幅は難しい。町道見高浜線はバス路線でもあり、拡幅が必要。
- 密集地における建物建設に関する町独自の緩和措置を。
- 長野地区では水利の問題が一番の課題。停電時に水道が止まってしまう不安がある。
- 見高浜地区は昔からの良好なコミュニティが残っている。長野地区では、組によって違うが、コミュニティの薄れも感じられる。
- 見高入谷地区では空家が増えている。今後は空家対策が必要。

今井浜地区における保養地・リゾート地としての良好な環境の保全・育成

美しい今井浜海岸に近く、大規模なホテルや旅館、企業の保養施設が立地する今井浜地区において、体も心も癒される保養地・リゾート地としての環境を保全・育成します。

◆取り組み◆

- ▶ ホテルやペンション、企業の保養施設の立地、集積の促進
- ▶ 保養地としての魅力の演出、イメージアップの検討
- ▶ 今井浜海岸の美しい景観、広大な相模灘の眺望の保全。町民やボランティアなどとの協力による、海岸の美化活動、清掃活動の実施
- ▶ サンシップ今井浜の跡地の新たな施設の適正な管理・運営。施設を生かした地域の活性化

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- バブル期に比べ、企業の保養施設は 1/3 程度まで減少している。また、今井浜海岸の海水浴客も減少している。
- 民宿組合の加盟数も 80 から 20 程度まで減少しており、イベント等の開催が難しくなっている。
- 夏以外の今井浜海岸の利用方法の検討及び PR。
- 何らかの活性化が必要。開発した土地に未利用地が残されている。
- 海だけでなく、森林浴が楽しめるような環境の整備・活用を。
- 以前は七子遊歩道をライトアップするなどの魅力演出、イメージアップの取り組みをしていた。

生活道路における安全な歩行・走行の確保、緊急時への対応

歩行上、走行上危険性の高い道路や緊急車両の通行に支障のある道路など、生活道路や通学路の整備・改善を進め、安全性・利便性の向上を図ります。

◆取り組み◆

- ▶ 国道 135 号と見高浜や見高入谷などの各地域(集落)を連絡する主要な町道の整備・改善
- ▶ その他、緊急車両の通行に支障のある町道、通学路における、狭あい区間の拡幅や見通しの悪い交差点などの交通危険箇所の改善

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 緊急車両の通行が困難な道路が多い。
- 見高浜地区の集落内の生活道路の拡幅は難しい。町道見高浜線はバス路線でもあり、拡幅が必要。
- 主要な生活道路の幅員は最低6mにする。(県道、町道)
- 東小への新たな道路の整備を。

地域住民の身近な憩いの場の整備

地域内に整備された公園がないことから、各地域(集落)の状況等を踏まえつつ、新たな公園や憩いの場の整備を検討します。

◆取り組み◆

- ▶ 相模灘の眺望を楽しむことができる公園、果樹園と一体となった農業公園、避難場所となるような公園など、新たな公園・広場の整備の検討

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 公園がない。公園が少ない。長野地区に遊具、トイレが整備された公園がほしい。
- 見高入谷、長野地区に避難場所となるような広場・公園がほしい。テントが設営できる場所。
- 伊豆今井浜病院の裏の桜の活用。(公園化)
- 海洋公園の整備を。(アスレチック等)
- 三筋山遊歩道の整備。ハイキング及びマウンテンバイク。

伊豆今井浜病院の機能の維持・充実

地域医療の核としての役割を担う伊豆今井浜病院の機能の維持・充実を図ります。

◆取り組み◆

- ▶ 伊豆今井浜病院の機能の維持・充実(人材、技術、医療設備など)
- ▶ 伊豆今井浜病院を核とする地域医療体制、救急医療体制の確保・充実

地震・津波からの避難行動、避難生活への対策

沿岸部に位置する見高浜地区において、想定される津波規模等を踏まえ、地震・津波から地域住民や観光客の命を守るための避難行動や避難生活に備えた防災・減災のまちづくりを進めます。

◆取り組み◆

- 見高浜地区における後背地の高台などへの一時的な避難場所の確保。その避難場所へ迅速に避難することができる避難経路の確保・整備（土砂崩れや建物の倒壊による避難路の寸断の可能性等の検証）
- 国道 135 号が津波被害や法面崩壊により寸断した場合の迂回路（代替路）の確保・整備の検討
- 見高入谷地区において土砂崩れ等により孤立した場合の連絡方法、避難方法などの対応策の検討
- 海水浴客や観光客の迅速かつ安全な避難行動の確保（海水浴客、観光客の避難を想定した避難路や避難地の確保、観光客の視点に立った対策の検討）
- 災害時における救援物資等の輸送拠点としての漁港の整備、機能の確保の検討
- 広域避難地となる東小学校の耐震性の向上。防災用資器材や備蓄品などの整備・充実

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 見高浜地区の津波対策。
- 避難路の整備。避難場所へのアクセス整備。
- 建物の倒壊により、避難地までの避難経路が寸断してしまう心配はある。
- 見高入谷地区は、集落（家）が点在しており、土砂崩れなどにより孤立する可能性がある。崩壊する恐れのある箇所のチェックや孤立した場合の連絡方法などの対策が必要。
- 夜間の地震・津波の発生を想定した場合、避難路への外灯（停電時を想定した外灯）の設置が必要。
- 見高浜地区では、各地区で津波から一時的、緊急的に避難する場所を決めている。
- 第一避難場所の整備。（最終の避難場所までたどり着かないことの想定）
- 見高入谷、長野地区に避難場所となるような広場・公園がほしい。テントが設営できる場所。
- 災害時における観光客の受け入れ方法の検討。東小だけでは海水浴客の避難を受け入れることができない。ホテルや旅館などの協力が必要。
- 災害時に漁港を防災拠点（救援物資等の海上輸送の拠点）として活用する。
- 国道沿いの水利の問題。長野地区は水源がないため水が心配。

今井浜海岸の美しい景観の保全

今井浜海岸の白い砂浜と青い海が創り出す美しい自然景観、広大な相模灘の眺望を保全します。

◆取り組み◆

- 今井浜海岸の美しい景観、広大な相模灘の眺望の保全。町民やボランティアなどとの協力による、海岸の美化活動、清掃活動の実施
- 砂浜の侵食対策
- 河津城山コースの適正な維持・管理など、海辺の美しい景観や広大な眺望を楽しむことができる環境づくり
- 浜辺の後背地となる保養地・リゾート地における魅力ある景観の誘導

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 今井浜海岸など海がきれい。今井浜海岸は冬がきれい。
- 砂浜の侵食対策として、漁港にたまった砂を今井浜に移して砂浜を維持しているが、それでも砂浜は減ってきている。
- 夏以外の今井浜海岸の利用方法の検討及びPR

漁村や農山村の風景・雰囲気・保全・継承

見高浜の漁港と一体となった漁村の面影が残る風景や見高地区の丘陵地・台地に形成された、農地と集落が調和している昔ながらの農山村の風景・雰囲気を保全・継承します。

◆取り組み◆

- 漁港の適切な維持・管理
- 漁村の面影が残る佇まい、雰囲気・保全（建築物等のデザインや色彩の適切な誘導など）
- 農地の適切な維持・管理、遊休化の抑制
- 良好な農山村の風景を損なう恐れのある開発等への適切な対応

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 港をもっと整備したい。今のままではもったいない。
- 漁村体験ができる漁港に。
- 船着場の整備を。（砂がたまるため。その他の船着場が必要）
- 田畑の耕作放棄地が多くなってきた。
- 遊休農地は増えてしまったが、見高入谷地区の農村風景（段々畑）はよい。
- 伊豆見高入谷高原温泉周辺の農村風景を生かした環境整備をしたらどうか。

歴史・文化資源の保全・活用

見高神社など、古くから守り、受け継がれてきた社寺等が創り出す、歴史・文化を感じる
とができる雰囲気や景観を保全・継承します。

◆取り組み◆

- 地域住民等との連携・協力による、見高神社、長野神社、段間遺跡などの歴史・文化資源の保全・継承
- 新たな地域の魅力づくりへの歴史・文化資源の活用の検討

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 見高神社の回り舞台、三番叟が自慢。もっとPRしたい。
- 段間遺跡が自慢。復元された住居の再整備が必要。見学しやすい場所に移動した方がよい。
- 歴史・文化資源を保全・活用していくためのシステムが必要。町と地域の役割分担など。

◆ 東部地域 方針図 ◆



凡例

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  農地の保全
(まとまりのある農地の保全、荒廃化の抑制 など) |  歴史・文化資源の保全・活用 |
|  集落地における居住環境の改善・向上
(生活道路や用排水路、上水道などの生活基盤の改善・充実 など) |  主な公共公益施設 |
|  今井浜地区における保養地・リゾート地としての良好な環境の保全・育成
(ホテルやペンション、企業の保養施設の立地、集積の促進 など) |  都市計画区域界 |
|  今井浜海岸の美しい景観、広大な相模灘の眺望の保全 |  行政区界 |

(4)地域づくりのための協働のあり方

地域づくりの方針の中から、地域や住民がより関わりを持ち、協力して進めていくことが必要な方針について、住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージを整理します。

地域づくりの方針	住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージ
<p>今井浜地区における保養地・リゾート地としての良好な環境の保全・育成</p> <p>美しい今井浜海岸に近く、大規模なホテルや旅館、企業の保養施設が立地する今井浜地区において、体も心も癒される保養地・リゾート地としての環境を保全・育成します。</p> <p>今井浜海岸の美しい景観の保全</p> <p>今井浜海岸の白い砂浜と青い海が創り出す美しい自然景観、広大な相模灘の眺望を保全します。</p>	<p>○宿泊施設の経営者などが中心となり、保養地・リゾート地としての魅力の向上やイメージアップ等について検討し、良好な環境、景観づくりなどに取り組みます。</p> <p>○今井浜海岸の美化活動、清掃活動に参加・協力します。</p>
<p>生活道路における安全な歩行・走行の確保、緊急時への対応</p> <p>歩行上、走行上危険性の高い道路や緊急車両の通行に支障のある道路など、生活道路や通学路の整備・改善を進め、安全性・利便性の向上を図ります。</p>	<p>○地域として交通危険箇所や狭小幅員箇所を抽出、整理し、町に整備・改善を投げかけます。また、拡幅に伴う土地の提供など、生活道路の整備・改善に協力します。</p> <p>○日頃から地域内の道路の状況(老朽化に伴う破損など)に対して意識を持ち、破損箇所を早期発見するなど、道路の維持・管理に協力します。</p>
<p>津波・地震からの避難行動、避難生活への対策</p> <p>沿岸部に位置する見高浜地区において、想定される津波規模等を踏まえ、地震・津波から地域住民や観光客の命を守るための避難行動や避難生活に備えた防災・減災のまちづくりを進めます。</p>	<p>○家庭や地域の中で災害時の避難方法について話し合う機会を増やすなど、東日本大震災以降高まっている、地震・津波に対する危機感、防災意識を持ち続けます。</p> <p>○見高浜地区などの沿岸部を中心に、避難場所や避難路の確保・整備、海水浴客や観光客の避難対策などについて、町と一緒に考えて、取り組みます。</p>

地域づくりの方針

漁村や農山村の風景・

雰囲気・保全・継承

見高浜の漁港と一体となった漁村の面影が残る風景や見高地区の丘陵地・台地に形成された、農地と集落が調和している昔ながらの農山村の風景・雰囲気を保全・継承します。

歴史・文化資源の保全・活用

見高神社など、古くから守り、受け継がれてきた社寺等が創り出す、歴史・文化を感じることができる雰囲気や景観を保全・継承します。

住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージ

- 森林や農地の所有者は、適切な管理・手入れに努め、荒れたままの状態にならないように気をつけます。
- 農地や河川にごみを捨てないなど、良好な農山村の環境、景観の保全に対する意識を高めます。
- 新たな開発や土地利用転換を行う際は、見高浜地区の漁村の面影が残る風景や良好な農山村の風景など、周辺環境との調和に配慮します。

- 地域の歴史・文化にふれあい、学ぶ機会を増やすなど、歴史・文化の保全、継承に対する意識を高めます。
- 社寺等の歴史・文化資源の清掃活動や説明板の設置などの環境整備の取り組みに参加・協力します。

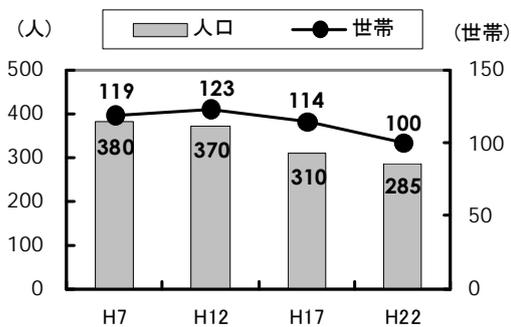
5 南部地域

(1) 地域を取り巻く環境

位置等

○本地域は河津都市計画区域の南部に位置し、縄地地区から構成されます。

○平成 22 年の人口・世帯数は、285 人、100 世帯となっています。人口・世帯数とも減少が続き、平成 7 年から 22 年にかけて約 100 人、20 世帯が減少しました。



資料: 国勢調査(縄地)



土地利用

○地域の大部分が森林や斜面地を利用した農地であり、縄地川沿いの山あいの平坦地に、古くからの農山村集落が形成されています。

土地利用に関わる主な法適用状況

- 農業振興地域
- 富士箱根伊豆国立公園

○相模灘に面する海岸線一帯は、富士箱根伊豆国立公園に指定されています。複雑に入り組んだリアス式海岸となっており、奇岩などからなる岩場など変化に富んだ美しい海岸が形成されています。

○菖蒲沢海岸は、良好なダイビングポイントとして海洋レジャーの拠点となっています。



▲ 縄地の集落



▲ 菖蒲沢海岸

都市施設

- 主要幹線道路の国道 135 号が海岸沿いを通過しています。また、縄地地区と下田市（落合地区）を結ぶ県道河津下田線の整備が進められています。
- 集落地内の生活道路は、老朽化に伴う破損・損傷に対する修繕などは行われてきましたが、計画的な拡幅整備などは遅れており、ほとんどが幅員の狭い道路となっています。
- 公共交通は、国道 135 号が自主運行バスのルートになっているものの、運行本数は限られています。
- 地域内には、地域住民の身近な遊び場、憩いの場となる公園や広場は整備されていません。
- 地域内の主な公共公益施設として B&G 河津海洋センター体育館があります。

主な都市施設		
道路・交通施設	鉄道	—
	国・県道 (2 路線)	➤ 国道 135 号、県道河津下田線(整備中)
	都市計画道路	—
公園・緑地	都市公園	—
	その他の主な公園	—
	主な緑地	—
その他の公共公益施設等	官公庁施設	—
	教育施設	—
	その他	➤ B&G河津海洋センター体育館



▲ 国道 135 号



▲B&G 河津海洋センター体育館

都市環境

- 集落地の背後にある山間地の沢や川が土石流危険溪流となっており、台風や集中豪雨時における土砂災害が懸念されます。また、入り組んだリアス式海岸を形成していることから、縄地地区において震災時の津波被害についても懸念されます。
- 縄地地区では、森林や農地に囲まれた昔ながらの農山村景観が残されています。
- 国道 135 号からは、奇岩などからなる岩場など変化に富んだ美しい海岸景観や広大な相模灘の眺望を楽しむことができます。

災害防止に関わる主な法適用状況

—

主な景観要素

自然の景観 (みどりと水の景観)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域を取り囲む緑豊かな山々。 ▶ 複雑に入り組んだ海岸線。海岸線から望む相模灘。 ▶ 果樹園等の農地。
歴史・文化の景観	▶ 子安神社、地福院などの社寺。
暮らしの景観	▶ 山々、農地に囲まれた農山村集落の景観。
その他 (花や温泉など)	▶ 菖蒲沢海岸(ダイビングのポイント)



▲海岸線

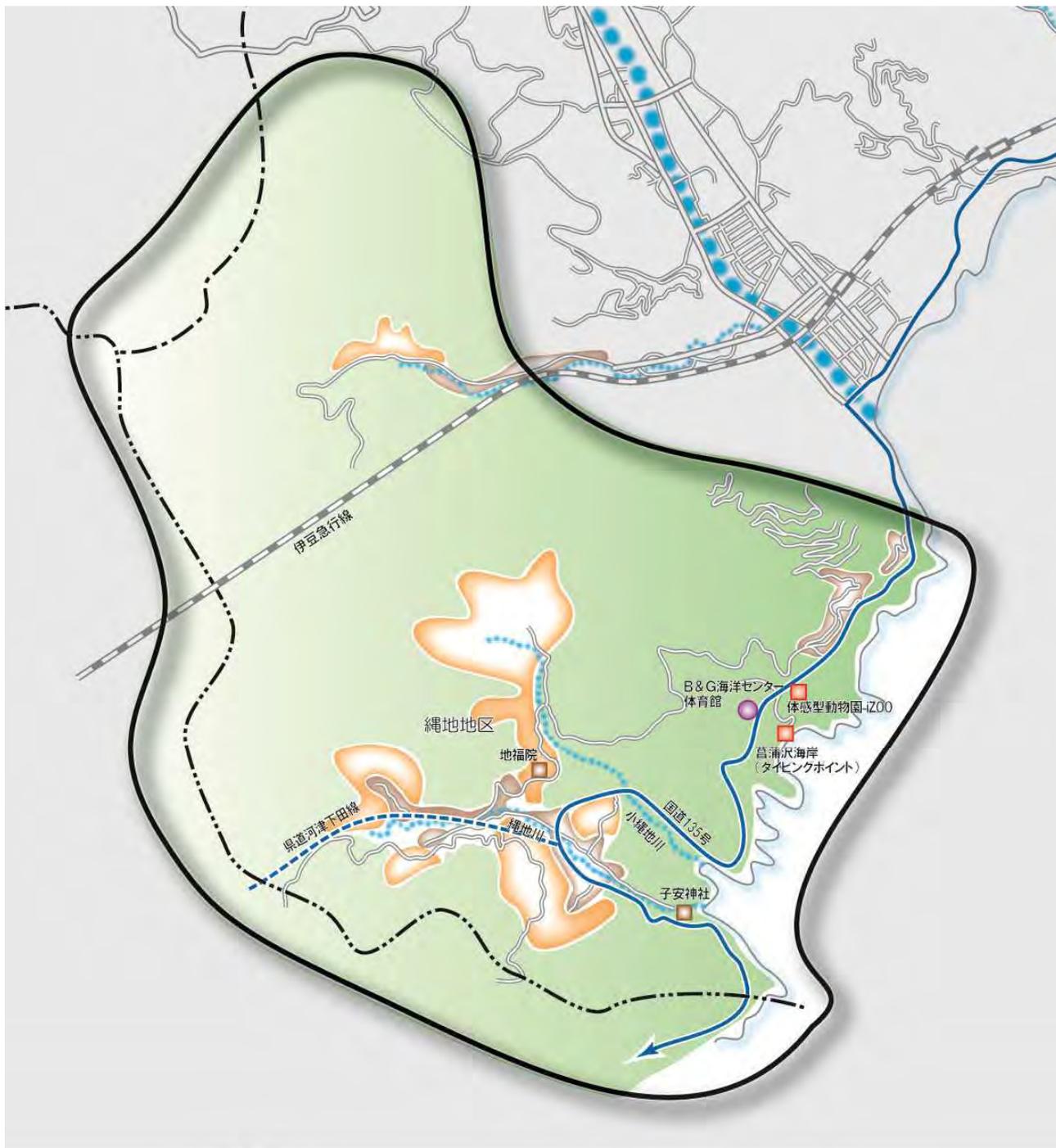


▲海岸線



▲子安神社

◆ 南部地域 特性図 ◆



凡例

【主な土地利用】

-  山林
-  まとまりのある農地
-  集落地、別荘地
-  河川

【主な施設等】

-  国道、県道(整備済)
-  国道、県道(未整備)
-  主な公園・緑地
-  主な公共公益施設等
-  主な観光レクリエーション施設等
-  主な歴史・文化資源

(2) 地域づくりの目標

全体構想及び地域を取り巻く環境等を踏まえ、地域づくりの目標を次のように設定します。

美しい自然を背景に、海との出会い・ふれあいや、 農山村の落ち着いた暮らしを支え、育む地域

緑豊かな山々、変化に富んだ美しい海岸線を楽しむことができる地域です。菖蒲沢海岸を中心に海の魅力を生かした地域づくり、活性化を進めます。

集落においては、農山村としての落ち着いた環境の保全を基本としつつ、地域を取り巻く環境や抱える課題への対応、地域コミュニティ・活動の活性化などにより、集落としての機能の維持、元気ある地域づくりを進めます。

(3)地域づくりの方針

土地利用に関する主な方針

農山村集落としての環境との調和を基本とした土地利用の形成

森林、農地に囲まれた農山村集落の緑豊かな環境の維持・調和を基本とした土地利用の形成を促進します。

◆取り組み◆

- 河津町森林整備計画に基づく、森林の計画的かつ適正な管理・育成
- 農業振興策等との連携による、斜面地に広がる果樹園などのまとまりある農地の保全、遊休化の抑制
- 農業、農地を生かした新たな取り組み、地域の活性化の検討
- 農山村集落の良好な環境を悪化させる恐れのある無秩序な土地利用転換、開発への適切な対応
- 行政、農家、農協等との協働による、鳥獣等による農作物被害への対応の強化

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 山の管理（手入れ）は難しいのが現状。
- 農地から宅地への利用転換を容易にできるように。（荒地が多いため）
- 人口減少、高齢化が進む中で、いろいろな交流、会話を持つことが大切。農地の貸し借りなど、取り組むことができそうなことから取り組んでいく必要がある。
- 農業の時代が来る。農地の開放を。都市部の人に貸し出し、地域の高齢者が農業を教える。
- 条件が合えば農地を無料で貸し出してもよいのではないか。地域の活性化、農地の維持などいろいろな面から。

集落地における居住環境の改善・向上

集落を取り巻く環境や課題に応じた生活基盤の整備・改善などを進め、居住環境の改善・充実に努めます。

◆取り組み◆

- 集落地内の生活道路や用排水路、防火水槽などの生活基盤の改善・充実
- 集落地内のコミュニティ(助け合い)の維持・充実

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 生活道路の整備を。（道が悪い）
- 生活道路の改善が一番重要。救急車や消防車が入ることができない。
- 防火水槽の設置を増やす。（川の水利用がないため）それほどしっかりしたものでなくてよい。
- タンクを整備し、水を貯めておく。

菖蒲沢海岸周辺における海洋レジャースポットとしての利用促進

菖蒲沢海岸周辺において、海の魅力を守りながら、ダイビング、釣りなどの海洋レジャーを楽しむことができる場としての利用を促進します。

◆取り組み◆

- 釣り場、ダイビングスポットとしての良好な環境の保全・充実
- 海洋レジャースポットとしてのさらなる魅力づくり、イメージアップの検討

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- ダイビングスポットやキャンプ場の拡張、誘致。（海を利用する）
- 磯釣り場の整備。
- 海岸線は国立公園に指定されているため、開発があまりできない。
- 誰でも魚介類を取れるようにしないと海には訪れない。そのためには、漁業権の問題をクリアしなくてはならない。

地域の魅力や活力の創出に向けた土地の有効活用の検討

地域の現況や特性を踏まえ、生かしながら、地域の新たな魅力や活力を生み出す土地の有効活用を検討します。

◆取り組み◆

- 採石場跡地の有効活用の検討
- 縄地金山の有効活用の検討
- 縄地地区の海岸における平地部分の有効活用の検討

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 採石場跡地の利用の検討。（間伐材のチップを利用した発電。温泉を引くなど）
- 採石場跡地をそのままにしておく訳にはいかない。広大な土地であり何にでも活用できる。
- 縄地金山の有効利用。
- 縄地金山は土肥マリンが所有している。地域のものでないため積極的な活用は難しい。
- 縄地の海岸の平地部分を有効利用できるのではないか。（土肥マリンのように）
- 縄地の海岸の平地部分を維持・管理するため、海水浴客から駐車場代を徴収し、トイレの維持・管理費等として利用するくらいはしてもよいのではないか。

国・県道の整備・改善

まちの骨格となり、日常の町民生活や活動、観光交流等を支える国・県道の計画的な整備・改善を進めます。

◆取り組み◆

- ▶ 縄地と下田市落合を連絡する県道河津下田線の整備の促進
- ▶ 国道 135 号の適正な維持・管理、交通危険箇所の改善などの改良整備の促進
- ▶ 国道 135 号における、災害時等の落石や土砂崩壊の危険性の検証、対策強化の促進

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 県道河津下田線の整備の促進。早期完成を。

生活道路における安全な歩行・走行の確保、緊急時への対応

地域内の道路は全体的に幅員が狭いことから、緊急車両の通行に支障のある道路など、緊急性や重要性に応じて、必要な区間・箇所の整備・改善を進め、安全性・利便性の向上を図ります。

◆取り組み◆

- ▶ 集落内の主要な町道や緊急車両の通行に支障のある町道における、狭あい区間の拡幅や見通しの悪い交差点などの交通危険箇所の改善

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 地域内の道路はここ何年間か整備がされていない。昔のままの状態。生活道路の整備を。
- 生活道路の改善が一番重要。救急車や消防車が入ることができない。

地域住民の身近な憩いの場の整備

地域内に整備された公園がないことから、新たな公園や憩いの場の整備を検討します。

◆取り組み◆

- ▶ 公民館のグラウンドの適正な維持・管理。地域住民の要望等を取り入れた、より利用しやすい環境づくり
- ▶ 社寺等の歴史・文化資源を活用した憩いの場の創出の検討

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 高齢者の憩いの場を整備する。公民館の施設の充実。

津波や土砂災害への対策

沿岸部に位置し、また集落の後背地が傾斜地となっていることから、想定される津波規模や土砂災害を踏まえた安全対策を図ります。

◆取り組み◆

- 裏山や高台などへの一時的な避難場所の確保。その避難場所へ迅速に避難することができる避難路の確保・整備(土砂崩れによる避難路の寸断の可能性等の検証)
- 国道 135 号が法面崩壊等により寸断した場合の迂回路(代替路)の確保・整備の検討。寸断により、地域(集落)が孤立した場合の避難等の対応策の検討
- 森林の適切な保護・育成(土砂流出防備等の機能の維持)
- 公民館の耐震化、防災用資器材や備蓄品などの整備・充実

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 一人ひとりが自分の身を守る意識を持つことが大切。
- 津波被害は想定されるが避難は十分に可能。
- 避難場所となる公民館の耐震診断、補強を進めている。
- 避難路を整備し、マップにして示す。
- 地域が全く孤立してしまう可能性は低いと思うが、備蓄品の確保などについては検討しておかなくてはならない。
- 防災無線を活用する。

変化に富んだ海岸が創り出す自然景観の保全

国道 135 号等から望むことができる、長い年月をかけ自然の力により創出されたリアス式海岸の景観、相模灘の広大な眺望を保全します。

◆取り組み◆

- 奇岩などの岩場が創り出す変化に富んだ海岸景観、広大な相模灘の眺望の保全
- こうした景観や眺望をゆっくり楽しむことができるスペース、散策コース等の整備の検討

～地域まちづくり検討会議での意見・アイデア～

- 海岸線がきれい。
- 採石場跡地からの土砂流出により海が汚れている。(海の濁り)

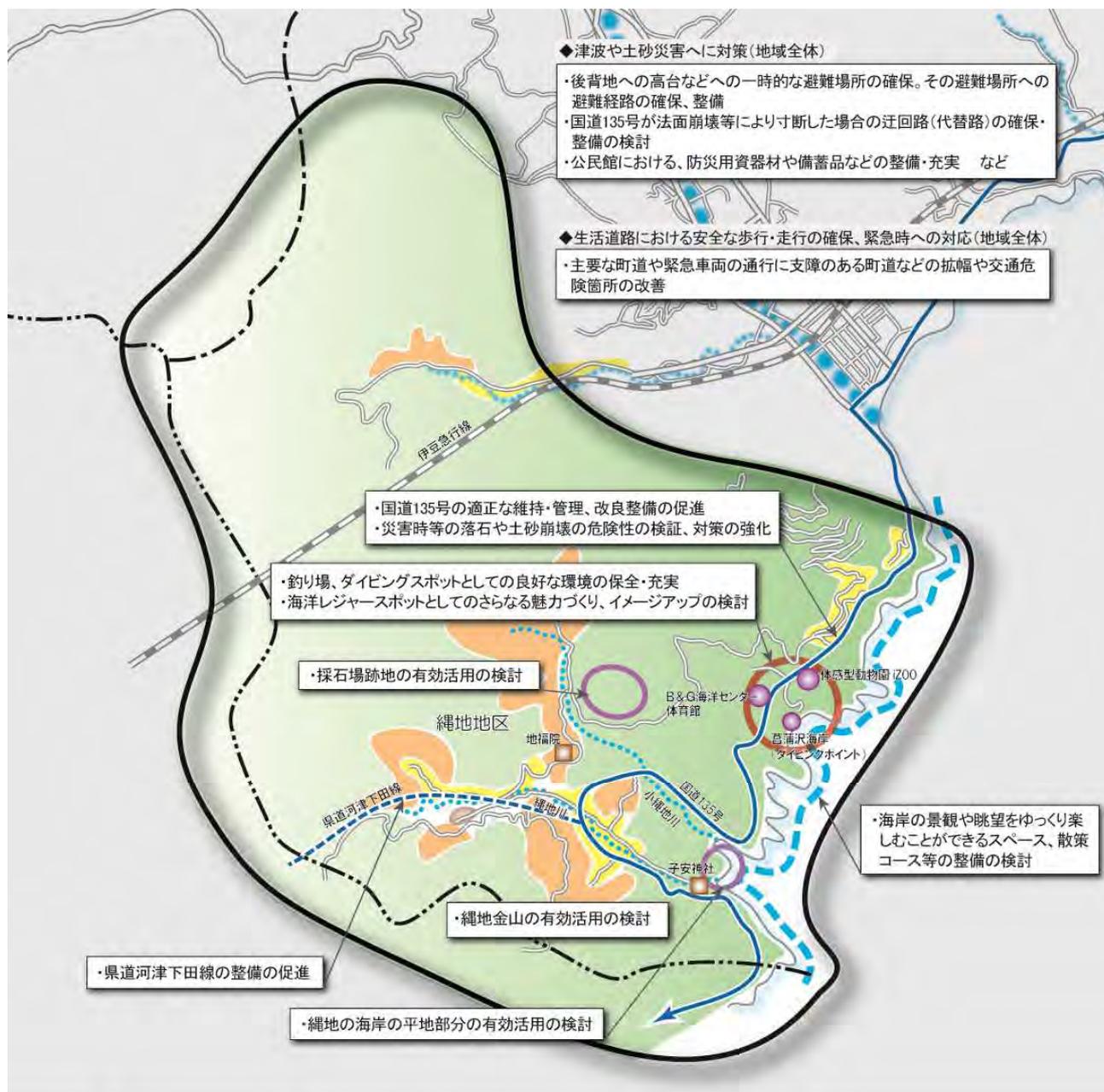
農山村の風景・雰囲気の保全・継承

恵まれた自然環境に囲まれ、農地と集落が調和している昔ながらの農山村の風景・雰囲気を保全・継承します。

◆取り組み◆

- 森林、農地の適切な維持・管理、荒廃化の抑制
- 社寺等の歴史・文化資源の保全・継承(歴史・文化を感じることができる雰囲気や景観の保全)
- 良好な農山村の風景や雰囲気を損なう恐れのある開発等への適切な対応

◆ 南部地域 方針図 ◆



凡例

- | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
|  | 農山村集落としての環境との調和を基本とした土地利用の形成
(森林の計画的かつ適正な管理・育成 など) |  | 変化に富んだ海岸が創り出す自然景観の保全 |
|  | 農山村集落としての環境との調和を基本とした土地利用の形成
(まとまりのある農地の保全、荒廃化の抑制 など) |  | 農山村の風景・雰囲気との保全・継承
(社寺等の歴史・文化資源の保全・継承) |
|  | 集落地における居住環境の改善・向上
(生活道路や用排水路、防火水槽などの生活基盤の改善・充実 など) |  | 主な公共公益施設、観光レクリエーション施設 |
|  | 菖蒲沢海岸周辺における海洋レジャースポットとしての利用促進 |  | 都市計画区域界 |
|  | 地域の魅力や活力の創出に向けた土地の有効活用の検討 |  | 行政区区域界 |
|  | 国・県道の整備・改善 | | |

(4)地域づくりのための協働のあり方

地域づくりの方針の中から、地域や住民がより関わりを持ち、協力して進めていくことが必要な方針について、住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージを整理します。

地域づくりの方針	住民や地域の役割、関わり方、協働のイメージ
<p>地域の魅力や活力の創出に向けた土地の有効活用の検討</p> <p>地域の現況や特性を踏まえ、生かしながら、地域の新たな魅力や活力を生み出す土地の有効活用を検討します。</p>	<p>○碎石場跡地や縄地金山、縄地の海岸の平地部分の有効活用など、これからの地域の魅力づくりや活力の創出について、町と一緒に考えて、取り組みます。</p>
<p>生活道路における安全な歩行・走行の確保、緊急時への対応</p> <p>地域内の道路は全体的に幅員が狭いことから、緊急車両の通行に支障のある道路など、緊急性や重要性に応じて、必要な区間・箇所の整備・改善を進め、安全性・利便性の向上を図ります。</p>	<p>○地域として交通危険箇所や狭小幅員箇所を抽出、整理し、町に整備・改善を投げかけます。また、拡幅に伴う土地の提供など、生活道路の整備・改善に協力します。</p> <p>○日頃から地域内の道路の状況(老朽化に伴う破損など)に対して意識を持ち、破損箇所を早期発見するなど、道路の維持・管理に協力します。</p>
<p>津波や土砂災害への対策</p> <p>沿岸部に位置し、また集落の後背地が傾斜地となっていることから、想定される津波規模や土砂災害を踏まえた安全対策を図ります。</p>	<p>○家庭や地域の中で災害時の避難方法について話し合う機会を増やすなど、東日本大震災以降高まっている、地震・津波に対する危機感、防災意識を持ち続けます。</p> <p>○沿岸部を中心に、避難場所や避難路の確保・整備、地域が孤立した場合の対策などについて、町と一緒に考え、取り組みます。</p>
<p>農山村の風景・雰囲気の保全・継承</p> <p>恵まれた自然環境に囲まれ、農地と集落が調和している昔ながらの農山村の風景・雰囲気を保全・継承します。</p>	<p>○森林や農地の所有者は、適切な管理・手入れに努め、荒れたままの状態にならないように気をつけます。</p> <p>○農地や河川にごみを捨てないなど、良好な農山村の環境、景観の保全に対する意識を高めます。</p> <p>○新たな開発や土地利用転換を行う際は、良好な農山村の風景や環境との調和に配慮します。</p> <p>○地域の歴史・文化にふれあい、学ぶ機会を増やすなど、歴史・文化の保全、継承に対する意識を高めます。</p> <p>○社寺等の歴史・文化資源の清掃活動や説明板の設置などの環境整備の取り組みに参加・協力します。</p>